工 事 成 績 採 点 表 〔 完 成、一部完成

年 月 日作成

工	事	名																	T	契	約金	額(占	長終)				_			円	検査	上年月	日		年	J.		日
受	注 者	名															工		期			年	三月	日	~		年	月	日		完成	戈年月	日		年	J.		日
							IE	監督	員				総	括監晳	肾員					検査	員 (=	中間)					検査	員(□	中間)					検査	員(デ	記成)		
						氏名					氏名							氏名							氏名							氏名	検査	五郎	ß			
	考查項目			細別		a	b	С	d	е	a	a'	b	Ъ'	С	d	е	a	a '	b	b'	С	d	е	a	a'	b	b'	С	d	е	a	a'	b	Ъ,	С	d	е
1	施工体制	.	Ι.	施工体制一般		+1.0	+0.5	0	− 5.0	-10																												
	76 II 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11			配置技術者		+3.0	+1.5	0	− 5.0	-10																												
			Ι.	施工管理		+4.0	+2.0			-10																						+5.	0	+2.	5	0	-7.5	-15
2.	施工状況	1	ΙΙ.	工程管理		-	+2.0			-10			+1.0)	0		-15																					
	7E 11.1/(DI	·	Ш.	安全対策		+5.0	+2.5	0	− 5.0	-10	+3.0		+1.5	5	0	− 7. (- 15																					
			IV.	対外関係		+2.0	+1.0	0	- 2.5	-5.0																												
	出来形			出来形		+4.0	+2.0	0	-2. 5	-5.0																						+10	+7.	5 + 5.	+2.5	0	-10	-20
3.	及び		Π.	品 質		+5.0	+2.5	0	− 2. 5	-5.0																						+15	5 +12	+7.	5 + 4.0	0	— 12. 5	-25
	出来ばえ	-	Ш.	出来ばえ																												+5.	0	+2.	5	0	-5. 0	
4.	工事特性	:	Ι.	施行条件等への対応	※ 2										0																							
5.	創意工夫	.	Ι.	創意工夫	※ 3			0																														
6.	社会性等	Ę.	Ι.	地域への貢献等							+10	+7.5	+5.0	+2.5	0																							
	加減点合	計 (1+2-	+3+4+5+6)		±			J	点	±						点	±			٠		,	点	±			•			点	±					Ą	点
	評定点	(6	5 点	. 土加減点合計)	※ 1	1			J	点	2						点	3			٠		,	点	3			•			点	4					Я	点
											〇中	間技術	5検査	だあ	った場	合:	(①		点×	0.4	+2		点×	0.2	+3		点×	0.2	+4		点×	0. 2	2)=		点			
	評 定 点	計							点																*	但し、	3は9	中間技術	術検査	が 2回	可以上の	の場合	は平均	値				
											〇中	間技術	i検査:	がなか	った場	計合:	(①		点×	0.4	+2		点×	0.2	+4		点×	0.4	.) =		点	Ā						
7.	法令遵守	*等			※ 7							_		0.0			点																					
	評定点合	計			※ 8			65	点		○ 評	定点記	+ (65	5.0 点	.) –	法令	遵守等	笋 (0.0 点	()	= (65. 0	点													
8	総合評価	î		技術提案履行確認	※ 9							履行		不履行	Ť	対象を	1																					
	技術提案	à		Den resident in page	,,,,,							1217		1 1121		,,,,,,,,																						
									【正監	督員】							【主任	E監督	員】						【総	括監督	肾員 】							【検査	. 員】			
		j	所	見	※ 5																																	

- ※1 65点 + 1.~3.の評定(加減点合計) + 4.~6.の評定(加点合計) = 評定点
 - 各評定点(①~④)は小数第1位まで記入する。
- ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。 評価に際しては、正・主任監督員からの報告を受けて総括監督員が評価するものとする。
- ※3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。
- ※4 4. 、5. 、6. は加点評価のみとする。また、法令遵守等は、減点評価のみとする。
- ※5 所見は必ず記載する。
- ※6 各考査項目ごとの採点は、考査項目別運用表によるものとし、検査員(完成)の評価に先立ち、正、総括監督員が行う。
- ※7 法令遵守等の評価は、総括監督員が行う。
- ※8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
- ※9 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合は、『不履行』を選択する。

細目別評定点採点表

項目	細別	①正監督員	②総括監督員	③検査員 (既済・中間)	③検査員 (既済・中間)	④検査員(完成)	細目別評定点	得点割合
1. 施工体制	I. 施工体制一般	(0.0) × 0.4 + 2.9 = 2.9 点					3.3 点	%
	Ⅱ. 配置技術者	(0.0) × 0.4 + 2.9 = 2.9 点					4.1 点	%
2. 施工状況	I. 施工管理	(0.0) × 0.4 + 2.9 = 2.9 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	(0.0) × 0.4 + 6.5 = 6.5 点	13 点	%
	Ⅱ. 工程管理	(0.0) × 0.4 + 2.9 = 2.9 点	(0.0) × 0.2 + 3.2 = 3.2 点				8.1 点	%
	Ⅲ. 安全対策	(0.0) × 0.4 + 2.9 = 2.9 点	(0.0) × 0.2 + 3.3 = 3.3 点				8.8 点	%
	IV. 対外関係	(0.0) × 0.4 + 2.9 = 2.9 点					3.7 点	%
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	(0.0) × 0.4 + 2.8 = 2.8 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 =	(0.0) × 0.4 + 6.5 = 6.5 点	14.9 点	%
	Ⅱ. 品質	(0.0) × 0.4 + 2.9 = 2.9 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	(0.0) × 0.4 + 6.5 = 6.5 点	17.4 点	%
	Ⅲ. 出来ばえ			() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	(0.0) × 0.4 + 6.5 = 6.5 点	8.5 点	%
4. 工事特性	I. 施行条件等への対応		(0.0) × 0.2 + 3.3 = 3.3 点				7.3 点	%
5. 創意工夫	I. 創意工夫	$(0.0) \times 0.4 + 2.9$ = 2.9 \pm					5.7 点	%
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		(0.0) × 0.2 + 3.2 = 3.2 点				5.2 点	%
7. 法令遵守等			(0.0) × 1.0 = 0.0 点				0	
					-	評定点合計	100 点	

[※] 既済部分(中間)検査があった場合 (①+②+③×0.5+④×0.5) =細目別評定点(既済、中間が2回以上の場合は③を平均する。

[※] 既済部分(中間)検査がなかった場合 (①+②+④) =細目別評定点

[※] 得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

考查項目	細り	別	a	b	С	d	e
			適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
1. 施工体制	I. 施工体制-		●評価対象項目 □ ① 「施工プロセス」のチェッ ②施工計画書を、工事着手前 ○ ③作業分担の範囲を、書類に □ 金本間が有効に機能している体制が有効に機能している体制が不動の内容と現場が ○ ⑥施工計画書の内容。事故を検 ○ ③ の緊場に対する本店や支店に ③ の工場製作期間における技術	クリストのうち、施工体制一般に に提出している。 制台帳及び施工体系図に明確に記 来形、品質等の確認を工事全般に 。 査している。 活した場合の対応が速やかであ よる支援体制を整えている。	ついて指示事項が無い。 載している。 わたって実施して、品質証明に係 る。	□ 施工体制一般に関して、監 督職員が文書による改善指 示を行った。	□ 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	判定		●判断基準 評価値が90%以上 評価値が80%以上90%未満・・・ 評価値が80%未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	a 目は削除する。 2 削除項目のある 数として計算した比 3 評価値(0%): 日数(10)	理項目」のうち、対象としない項 場合は削除後の評価項目数を母 率(%)計算の値で評価する。 =該当項目数(0)/評価対象項 評価対象項目数が2項目以下の		

业 木 佰 口	√m	Dil	1	1 1		1	正監官貝
考查項目	細	別	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	<u>d</u> やや不適切である	e 不適切である
1. 施工体制	Ⅱ. 配置技代 (現場代		●評価対象項目 【全体を評価する項目】 □ ①「施工プロセス」のチェッ ②作業に必要な作業主任者及 【現場代理人を評価する項目】 □ ③現場代理人が、工事全体を ④設計図書と現場との相違が。 監督職員への報告を適時及び 【監理(主任)技術者を評価する項目】 ⑤書類を共通仕様書及び諸五。 ⑥契約書、設計図書、適用す ⑦施工上の課題となる条件(圆下請の施工体制及び施工状	クリストのうち、配置技術者についび専門技術者を選任及び配置していまでは が専門技術者を選任及び配置していた。 把握している。 あった場合は、監督職員と協議する で的確に行っている。	いて指示事項が無い。 いる。 るなどの必要な対応を行っている でいる。 快している。 恋を図っている。 ている。	□ 配置技術者に関して、監督 職員が文書による改善指示 を行った。	下適切である □ 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	判定		●判断基準 評価値が90%以上 評価値が80%以上90%未満・・・ 評価値が80%未満・・・	 a 目は削除する。 b ② 削除項目のある数として、計算したる。 3 評価値(0%) = 目数(10) 	項目」のうち、対象としない項 場合は削除後の評価項目数を母 比率(%)計算の値で評価す =該当項目数(0)/評価対象項 評価対象項目数が2項目以下の。		

考	查	項目		細	別	a	b	С	d	e
						適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2	施工	伏况	Ι.	施工管理		●評価対象項目 □ ①「施工プロセス」のチェ書及 ②施工計画書が、設計図して、無計図して、無計図をで変化に対響が、設計して、無がの出の事の出の事項を、設計のの整理を、設計のの整理を、設計のの整理をである。当に対して、無対のの整理をである。 □ ③指定するとは、無対のををはいる。 □ ③指にすると、は、無対のををは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	クリストのうち、施工管理についび現場条件を反映したものとなっ 適切に対応している。 いよう保管している。 図書及び施工計画書に基づき適時及 計書及び施工計画書に基づき適時及 で真等を整理している。 整理している。	て指示事項が無い。 ている。 及び的確に行っている。 び的確に行っている。	でや小週切である 応工管理に関して、監督職 員が文書による改善指示を 行った。	
				判定		●判断基準 評価値が90%以上 評価値が80%以上90%未満 評価値が80%未満	・・・ a 目は削除する。 ② 削除項目のある数として、計算したる。 ③ 評価値(0%): 日数(11)	及項目」のうち、対象としない項 5場合は削除後の評価項目数を母 比率(%)計算の値で評価す =該当項目数(0)/評価対象項 評価対象項目数が2項目以下の		
							L	!		

2. 施工状况 Ⅱ. □	工程管理	適切である ●評価対象項目	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2. 施工状況 II. 3	工程管理	●評価対象項目				
**************************************	判定	□ ②工程に与える要因を的確に □ ③実施工程表の作成及びフォ □ ④現場条件の変化への対応が	Tage	を作成している。 工程を管理している。 ない。 、大きな工程の遅れが無い。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	□ 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を 行った。	□ 工程管理に関して、監督職 員からの文書による改善指 示に従わなかった。

孝 本 佰 日		2日	딘		h	C	d	
7 L 7 I	1	Луш	73.1					
考 項 目 2. 施工状况		## 对外関係	別	□ ②関係官公庁などと調整を行 □ ③地元との調整を行い、トラ □ ④第三者からの苦情が無い。 □ ⑤関連工事との調整を行い、	・ブルの発生が無い。 もしくは、苦情に対して適切な対 円滑な進捗に取り組んでいる。 事看板などにより地域住民や通行: ・	応を行っている。	d やや不適切である □ 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	で 不適切である
				評価値が80%未満	・・・ c 数として、計算した る。 ③ 評価値 (0%) = 目数 (6)	比率(%)計算の値で評価す =該当項目数(0)/評価対象項 評価対象項目数が2項目以下の		
		判定						
						:		

正監督昌

* * 15 D	T 44		T 1		1	
考查項目	工種	a	b	С	d	e
	土木 (農林等 含む)	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	□ 出来形の測定が、必要な測 定項目について所定の測定 基準に基づき行われており 、測定値が規格値を満足し 、a、bに該当しない。	□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、 監督職員が文書で改善指示を行った。	□ 契約約款第17条に基づき 、監督職員が改造請求を行った。
		※ ばらつきの判断は別紙-4参!	172			
		※ はりうさの刊例は別紙 4 多	H ₀			
		① 出来形の評定は、工事全般	を通じて評定するものとする。	_i		
		 ② 出来形とは、設計図書に示 	された工事目的物の形状及び寸法をい 事施工管理基準」の測定項目、測定基	う。 准及び担格値に其づき研究の出		
	dutata	来形を確保する管理体系である	が、当該管理基準によりがたい場合等	については、監督職員と協議の		
	判定	上で出来形管理を行うものであ ④ 出来形管理項目を設定して				
·				! 		
				i		
				! 		
		<u></u>		!		

-17		_	_	15		1		•	
考	査 項	目	上	種	a a	b	C	d	e
3.	出来形及		機械設備工事	F	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	田が出来 形 一		1)X/1/X, B, X, I/H		□ 設備全般にわたり、形状及び 応工管理基準の撮影記録が撮 設計図書で定められていない 不可視部分の出来形を写真撮 塗装管理基準の塗膜厚管理を 溶接管理基準の出来形管管理を 社内の管理基準に基づき管理 設計図書に定められている予	出来形管理項目について、監督職 影している。 適切にまとめている。 適切にまとめている。 !している。	。 員と協議の上で管理している。	□ 出来形の測定方法又は測定 値が不適切であったため、 監督職員が文書で改善指示 を行った。	□ 契約約款第17条に基づき 、監督職員が改造請求を行った。
			※上記欄によ 当該欄で評価 判定		●判断基準 評価値が80%以上 評価値が60%以上80%未満 評価値が60%未満	 a 目は削除する。 ② 削除項目のある 数として、計算したる。 評価値([比率] 評価対象項目数([5] 	評価対象項目数が2項目以下の		

考 査 項	目	工種	[a	b	С	d	е
				適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及 び出来ば え I. 出来形		電気設備工事通信設備工事受変電設備工事		いる。 機器等の測定(試験)結果が 機器等の測定(試験)結果が 不可視部分の出来形を写真が 設計図書に定められていない 設備全般にわたり、形状、寸 設備の据付、固定方法が、設 回 配管及び配線が、設計図書 測定機器のキャリプレショ 行先などを表示した名札がケ	出来形管理項目について、監督職法の実測値が許容範囲内である。 計図書又は承諾図書通り施工して は承諾図書通りに敷設している。 ンを、定期的に実施している。 一ブルなどに分かり易く堅固に取 縁抵抗等について、設計図書の仕	れ、適切に管理している。 員と協議の上で管理している。 いる。 り付けている。	□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、 監督職員が文書で改善指示を行った。	□ 契約約款第17条に基づき 、監督職員が改造請求を行った。
		※上記欄によらっ 当該欄で評価 判定 (ji,	●判断基準 評価値が80%以上 評価値が60%以上80%未満 ・・・ 評価値が60%未満 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	a 目は削除する。 c ② 削除項目のある数として、計算したる。 る。 評価値([比率評価対象項目数([]	評価対象項目数が2項目以下の		

考査項目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形及 び出来ば え II. 品質	土木 (農林等 含む)	□ 品質の測定が、必要な測定 項目について所定の測定基 準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、 そのばらつきが規格値の概 ね50%以内である。	□ 品質の測定が、必要な測定 項目について所定の測定基 準に基づき行われており、 測定値が規格値を満足し、 そのばらつきが規格値の概 ね80%以内である。	■ 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	□ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	□ 契約約款第17条に基づき 、監督職員が改造請求を行った。
		※ ばらつきの判断は別紙-4参!	照。			
		① 品質の評定は、工事全般を ② 品質とは、設計図書に示さ	通じて評定するものとする。 カた丁事日的物の担格である			
	判定	③ 品質管理とは、「土木工事 における品質確保のための管理 軽職員と協議の上で出来形管理	施工管理基準」の試験項目、試験基準) 体系である。なお、当該管理基準により を行うものである。	及び規格値に基づく全ての段階 りがたい場合等については、監		
		』 │ ④ 品質管理項目を設定してい │	ない工事は「c」評価とする。			

考	查「	頁 目	工	種	a	b	С	d	е
					適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	出びえる質		機械設備工事		●評価対象項目 □ 対象項目 □ 対解 部品の品質照合を、えを開発 部品のの書承 に 設備の機能及 体能 を い 機能 及 管理 基準 の 品	[(現物照合)の内容が設計図書の 図書のとおり確保している。 細設計を行い、承諾図書として提 設計図書を満足して、成績書にま について規格値を満足している。 について規格値を満足している。 にスイッチや表示灯を承諾図書のとおり機能 承諾図書のとおり敷設している。 ・ が、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	仕様を満足している。 出している。 とめられている。 おり配置し、操作性にすぐれて している。 部品並びに箇所を明示している よう工夫している。 績表にまとめられている。 している。	やや不適切である □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	不適切である 契約約款第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
			※上記欄によ 当該欄で評価 判定		●判断基準 評価値が80%以上 評価値が60%以上80%未満 ・・評価値が60%未満	・・・ a 目は削除する。 ・・・ b ② 削除項目のある数として、計算したる。 ③ 評価値([比率評価対象項目数([]:)評価対象項目数が2項目以下の		

考 査 項 目	工種	a	ь	С	d	е
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	電気設備工事 電気設備工事 電通信変電設備工事 要を ※上記欄で評価 料定 C	適切である ●評価対象項目 □ 製作着手前に、品質や性能の 材料、部品の品質照合の結果 様を満足している。 機器の品質、機能及び性能が 関 上のでが表示技統など 無作の大が配管の接能及び性能が設計である。 設備の機能及び性能が設計との作動が確能及び性能のの作動が確認できる。設計図書 現場条件によって機器(製品)認している。 認備全体についての取扱説明新)している。	ほぼ適切である 確保に係る技術検討を実施している。 、設計図書を満足し、成績書に性にのの作業が、記書の上でいる。 とおり配置書にいる。ともに、の仕様を満満足している。ともに、の性様を満満足している。ともに、の機能及している。きない場響を工夫し作成(修繕(改造・手を工夫のの機能及び箇所を明にできる。 書を工夫し作成(修繕(改造・明にできる。 当該にする目の、対策項計論に、は削除項計と、に、は削除項計として、は削除項計と、は削除項計と、は削除項計と、は対策項計と、は対策項目の、ある。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	他の評価に該当しない る。 む)で確認でき、設計図書の仕 とめている。 優れている。 優れに沿って行われ、不具合が 、必要な安全装置及び保護装置 合において、工場試験などで確 新含む)の場合は、修正又は更 ている。) ・ のよう工夫している。) ・ のおう工夫している。) ・ のよう工夫している。) ・ のよう工夫している。) ・ のよう工夫している。) ・ のよう工夫している。) ・ のよう工夫している。) ・ のよう工夫している。) ・ のよう工夫している。) ・ のよう工夫している。) ・ のよう工夫している。) ・ のよう工夫している。) ・ のまるよう工夫している。) ・ のまるよう工夫している。) ・ のまるよう工夫している。) ・ のまるよう工夫している。 ・ のまるよう工夫しているよう工人ではないるようているようているようているようているようているようているようているようて		
			<u> </u>			

*	本 1	9 8	·	T'	頹	3	h		d	Α
	н7	, H	-		195					
3.	査り出来形を	及		下, 修繕工	種	極的に取り組んでいる。	b ほぼ適切である る体制を整えている。 対応している。 現地状況を勘案し、施工方法や構 る提言や修繕サイクル等を勘案し		d やや不適切である □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	e 不適切である □ 契約約款第17条に基づき 、監督職員が改造請求を行った。
			当該欄	己欄による関で評価		●判断基準 ※該当項目が6項目以上・・・ ※該当項目が4項目以上・・・ ※該当項目が3項目以下・・・	a 他に適宜項目を追加b ただし、評価対象項	と必須の評価対象項目とし、この 同して評価するものとする。 質目は最大8項目とする。		

考查項目	細別	T. =	= 多	項	
5. 創意工夫	I. 創意工	【施工】	【安全衛		
o. ane	夫	□ 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。		- 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 ※	(本項目は2点の加点とする
		ロ コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。			
		□ 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。		安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看	f板、立入禁止柵、手摺り、
		□ 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。		足場等)	
		□ 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。		安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。	
		□ 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。		現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。	
		□ 照明などの視界の確保に関する工夫。		有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。	
		□ 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。		一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。	
		□ 運搬車両、施工機械等に関する工夫。		厳しい作業環境の改善に関する工夫。	
		□ 支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。			
		□ 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。			
		□ 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。	【その他	1	
		□ 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。	-	その他(理由:)
		□ 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。	_	その他(理由:)
		□ 情報化施工技術(一般化推進技術、実用化検討技術及び確認段階技術に限る)を活用した工事。(使用原則化	-	その他(理由:)
		工事を除く) ※本項目は2点の加点とする。	-	その他(理由:)
		□ 特殊な工法や材料を用いた工事。	-	その他(理由:)
		□ 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。	-	その他(理由:)
			-	その他(理由:)
		【新技術活用】 「新技術活用」においては、以下の5項目により、複数の技術の評価を可能とするが、最大3点の加点とする。 以下の項目の評価にあたっては、活用効果調査表の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方による全ての活 用効果調査表を確認した上で評価する。ただし、加点対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者 が指定し活用した場合は加点措置を行わないものとする。			
		【新技術活用】 □ (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 ※本項目は3点の加点とする。 □ (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 ※本項目は2点の加点とする。 □ (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が企来技術と同程度である。 ※本項目は1点の加点とする。 □ (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 ※本項目は2点の加点とする。 □ (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が中定程度確認できた。 ※本項目は2点の加点とする。 ※ 正ごで「有用とされる技術」とは、「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で定める「有用とされる技術」をいう。 ※ 複数の技術の評価にあたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、最大3点の加点とする。複数の技術が同一の評価項目に該当した場合、該当技術数に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価の点数とするが、この場合も最大3点の加点とする。 【品質】 □ 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。 □ 鉄筋、PCケーブル、コンクリートニ次製品等の使用材料に関する工夫。 □ 配筋、溶接作業等に関する工夫。 □ 配筋、溶接作業等に関する工夫。			
I	[記述評価] (評価内容を	【創意工夫の詳細評価】工夫の	内容及	び具体的内容を記載	
ı	詳細記述)	評点:			

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 評価は各項目において1つ評価(Eorレ点)が付されれば1、2、3点で評価し、最大7点の加点評価とする。 ※3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。 ※4. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。

老 木 佰 日	½m	린		l _a		a I	100円皿目具
与 沮 惧 日		נימ					
0 ##==#	T	m m		でで変むしいる	15の計画に該目しない	でであつしいる	力つしいる
考 查 項 目 2. 施工状況	Ⅲ.工程管理	別 里	□ ③工程管理を適切に行なった □ ④工程管理に係る積極的な取 □ ⑤災害復旧工事など特に工期	ことにより、休日や夜間工事の回 り組みが見られた。 的な制約がある場合において、余	で 他の評価に該当しない させることなく工事を完成させた。となく工事を完成させた。となく工事を完成させた。 避等を行い、地域住民に公共工事に 裕をもって工事を完成させた。 埋を的確に行い、余裕をもって工事		e 労っている
	判定		●判断基準 上記談当項目を総合的に判断し、	て、a、b、c、d、e評価を行う。			

考 査 項 目	細	別	а	b	С	d	е
7 H X H	//1944	/3 3	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対	· · · · ·	●			1 1 7 7 7 1 2	27 2 5 4 3
2. 旭工4人/江	皿. 女主刈	I JA	● □ □ □	の防止に向けを取り知りが原本で	t _ t-		
			ロ	の防止に向けた取り組みが顕著で 管理体制を整備し、組織的に取り 他の模範となるような活動に積極 や創意工夫に取り組んだ。	の) ツ /こ。 /ロ) ゼ		
			□ ②安全衛生を確保するための	官埋体制を整備し、組織的に取り	組んた。		
			□ ③安全衛生を確保するため、	他の模範となるような活動に積極的	的に取り組んだ。		
			□ ④安全対策に関する技術開発	や創意工夫に取り組んだ。			
			11 1 (5)女子協議完("0月古里ル、相称	BY 16、BX *7 余日 カノ/ご 。			
			□ ⑥安全対策に係る取り組みが	地域から評価された。			
			- その他(理由:	_ , , ,)		
			(经用:		,		
			●判断基準				
			●刊断基準 上記該当項目を総合的に判断し	てった。す。証価な行う			
			上記該当場日を総合的に判断し	C、a、b、C、d、e計皿で11 フ。			
	<u> </u>		ļ				
	判定						
	刊化						
	<u>'</u>		Ť				

考 査 項 目 細 別	対 応 事 例	総括監督員 【事例】 具 体 的 な 施 工 条 件 等 へ の 対 応 事 例
4. 工事特性 I. 施工条件等への対応	 I構造物の特殊性への対応 □ 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 □ 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 - 3. その他(理由:) ※上記の対応事項に1つ以上該当すれば4点の加点とする。 	(1.でついて) 切土の土工量: 20 万m3 以上、盛土の土工量: 15 万m3 以上、護岸・築堤の平均高さ: 10m 以上、トンネル(ジールド)の直径: 8m 以上、ダム用水門の設計水深: 25m以上、樋門又は樋管の内空断面積: 15m2 以上、揚排水機場の吐出管径: 2,000mm 以上、堰又は水門の最大径間長: 25m 以上、堰又は水門の径間数: 3 径間以上、堰又は水門の屋外面積: 15m2 以上、ドンネル(開削工法)の開削深さ: 20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積: 10m2 以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積: 300m3 以上、藤野にの計画者が流量: 500m3 以上、藤野にの計画者が流量: 500m3 以上、砂筋ダムの堤高: 15m 以上、ダムの堤高: 15m 以上、ダムの堤高: 15m 以上、桜木の流下能力: 400m3/s 以上、橋梁下部工の高さ: 30m 以上、橋梁上部工の最大支間長: 100m 以上、砂筋工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。・鉄道に開発した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	■ 都市部等の作業環境、社会条件等への対応	(4.について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・ 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・ 監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5.について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・ 地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 (6.について) ・ 市街地でのな間工事。 (7.について) ・ 日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 (供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・ 工事期間中の大学にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 (8.について) ・ 緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。 (9.について) ・ 緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。 (10.について) ・ 性業現場が近範囲に分布している工事。 (10.について) ・ 施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・ その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
	※上記の対応事項に1つ以上該当すれば6点の加点とする。	
	Ⅲ厳しい自然・地盤条件への対応 □ 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 □ 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 □ 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 □ 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 - 15. その他(理由:) ※上記の対応事項に1つ以上該当すれば4点の加点とする。	(11. について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。 (12. について) ・河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構合等を設置した工事。 (13. について) ・急峻な地形のため、作業構合や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命網を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面上又は念峻な地形ででの工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 ・14. について) ・イヌワン等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 (15. について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。
	 Ⅳ長期工事における安全確保への対応 □ 16.12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く)※但し、文書注意に至らない事故は除く。 - 17.その他(理由: ※上記の対応事項に1つ以上該当すれば6点の加点とする。 	* てい他、火台守にわりる始級が19世のプラヤに計画すべき事項が必められる工事。
評価	評 点: 0 点	

- ※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
- ※2. 評価にあたっては、監督員等の意見も参考に評価する。

総括監督昌

	1		7					.,	和印画目具
考	査 項	目	細	別	a	a'	b	b'	c
					優れている	bより優れている	やや優れている	c より優れている	他の評価に該当しない
6.	社会性等	至	I. 地垣	たへの	●評価対象項目				
	1	1	貢南		□ ①周辺環境への配慮に積極的	に取り組んだ			
			Уn	N/X	□ ②現場事務所や作業現場の環	境を周辺地域との景観に合わせるな	など 痔垢的に国知地はしの調和:	な回った	
					□ ②先物争務所で下来先物の場	現を用心地域との京観に百分とる。	よこ、傾極的に用と地域との調和	を囚うた。	
					□ ③定期的に仏報紙の配布や現	場見学会等を実施して、積極的に対	也哦とのコミュニケーションを図・	った。	
					□ ④道路清掃などを積極的に実	施し、地域に貢献した。			
					□ ⑤地域が主催するイベントへ	積極的に参加し、地域とのコミュニ	ニケーションを図った。		
					□ ⑥災害時などにおいて、地域	への支援又は行政などによる救援活	舌動への積極的な協力を行った。		
					- その他 (理由:)	120 120 120 120 120 120 120 120 120 120		
					しい値 (建田・	,			
					●判断基準				
						て、a、a'、b、b'、c評価を行う。			
		į,			╡				
			判定	?					
			1.170		_				
		Ť			7				
l									

法 令 遵 守 等 の 該 当 項 目 一 覧 表			
# 單点效	世界 占粉	占米	
	1,000		
	-15点	0 点	
□ 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	0 点	
□ 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点 0点	0 点	
□ 5.文書注意	-8点	0 点	
□ 6. 口頭注意	-5点	0 点	
処分が行われなかった場合	-3点	0 点	
□ 8. その他	(直接入力)	0 点	
□ 9. 総合評価方式における技術提案の不履行による減点	(直接入力)	0 点	
□ 10.項目該当なし			
	点数計	0 点	
1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検された。 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいる	ことが判明した。		品の納入、土木作業員や
	□ 4. 指名停止2週間以上1ヶ月末満 □ 5. 文書注意 □ 6. 口頭注意 □ 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合 □ 8. その他 □ 9. 総合評価方式における技術提案の不履行による減点 □ 10. 項目該当なし □ 本考査項目 (7. 法令遵守等) で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。②「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工列、施工場所等)を履行することに限定する。③「工事関係者方は、当該工事現場に従事する現場代理・工事と主た技術者、最質能明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事④ 総合評価済札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、9の「総合評価方式における技術提案の不履行による減【上記で評価する場合の適応事例 □ 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。3. 使用人に関する労働条件に問題があり送後された。4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。5. 当該工事関係者が関係と表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま	□ 1. 指名停止2ヶ月以上 □ 2. 指名停止2ヶ月以上2ヶ月末満 □ 1.5点 □ 4. 指名停止2ヶ月以上2ヶ月末満 □ 1.5点 □ 4. 指名停止2週間以上1ヶ月末満 □ 1.0点 □ 5. 文書注意 □ 1.0点 □ 5. 文書注意 □ 6. 口頭注意 □ 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の □ 9. 総合評価方式における技術提業の不履行による減点 □ 8. その他 □ (直接入力) □ 9. 総合評価方式における技術提業の不履行による減点 □ 10. 項目該当なし □ 2. 計論契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。 ② 「范ェ」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。 ② 「正動除者」とは、当該工事現場に使事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、高質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約(④ 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、9の「総合評価方式における技術提案の不履行による減点」で減する措置 【上記で評価する場合の適応事例】 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承話なしに権利又は接続を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送後された。 4. 産業解棄物処理法に違反する不提表策、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 5. 当該工事関係者が贈収断などにより逮捕びは公話された。 6. 一括下語・社会をが関と版言成を言な等の表かいるとどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、本でいるなどにより妨げた。 10. 下請代金を別は内に支払っていない、本でいるなどにより妨げた。 10. 下請代金を別は内に支払っていない、本では当体とのの場を通過に違反する事業のの場所を通信を表が入っていることが判明した。 13. 下請に金の出路を可能を認定により、までは当後の記録と、「暴力団関係企業が入っていることが判明した。 13. 下請に金の国路を運動と成していることが判明した。 第5日間係企業が入っていることが判明した。あるいた、「暴力団関による不当な行為の防止等に関する法律、第9条に記されている砂利、砂、防害:ガードンの受け入れ、土木作業自用の自動販売機の設置をそづている事業が明りた。	□ 1. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月以上 0. 点 0. 点 □ 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月末満 □ 1. 1 点 0. 点 □ 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月末満 □ 1. 1 点 □ 0. 点 □ 3. 指名停止2ヶ月以上2ヶ月末満 □ 1. 1 点 □ 0. 点 □ 3. 指名停止2ヶ月以上2ヶ月末満 □ 1. 1 点 □ 0. 点 □ 5. 文書注意 □ 1. 1 点 □ 0. 点 □ 5. 文書注意 □ 5. 元 書注意 □ 5. 元 書注意 □ 5. 元 □ 0. 点 □ 5. 文書注意 □ 5. 元 □ 0. 点 □ 5. 文書注意 □ 5. 元 □ 0. 点 □ 5. 文書注意 □ 5. 元 □ 0. 点 □ 5. 元 書注意 □ 5. 元 □ 0. 点 □ 7. 工事関係者事放又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、ロ頭注意以上の □ 3. 点 □ 0. 点 □ 9. 総合評価方式における技術提案の不履行による減点 □ 0. 点 □ 9. 総合評価方式における技術提案の不履行による減点 □ (直接入力) □ 0. 点 □ 10. 項目該当なし □ 10. 項目該当なし □ 点 □ 10. 項目 10. 互間 10. 互

考 査 項 目	1	細	別	a	b	С	d	e
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
2. 施工状况		1. 施工管	·理	●評価対象項目 □ ①契約約款第18条第1項第 □ ②施工計画書が工事着手前に 及び現場条件を通じに、 施容に ③ ③ 3 工事期間をでは、 地容に ③ 3 工事材料のの手のできる響が、 地質のできる響が、 地質のできる響が、 地質のできる響が、 地質のでは、 は、 は	5.1号~5号に基づく設計図書の照: 提出され、所定の項目が記載され、 となっていることが確認できる。 画書の記載内容と現場施工方法が 更が生じた場合は、その都度当該 いよう工事材料を保管しているこ 行っていることが確認できるが確認 図を法令等に沿った内容でいることが 図を法令等に沿った内容でいることが は別を接着を書面で実施していることが は別を表のとのと、 は別を表して、 は別を表して、 は別を、 は別を、 は別を、 は別を、 は別を、 は別を、 は別を、 は別を	を行っていることが確認できる ているとともに、設計図書の内容 一致していることが確認できる。 工事着手前に変更計画書を提出し とが確認できる。 できる。 整備していることが確認できる。 とが確認できる。 形、品質等の確認を工事全般にわ	□ 施工管理に関して、監督職 員が文書による改善指示を	□ 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
		判定		●判断基準 評価値が80%以上 評価値が80%以上90%未満 評価値が80%未満	 ・・ b ・・ b ② 削除項目のある数として、計算したる。 ③ 評価値(0%): 目数(12) 	2項目」のうち、評価対象外の項場合は削除後の評価項目数を母比率(%)計算の値で評価す =該当項目数(0)/評価対象項 部価対象項目数が2項目以下の。		

考 査 項 目	工 種	a	a'	Ъ	b'	С	d	е
3. 出来形及 び出来ば え I. 出来形	土木 (農林等含)	ており、測定値が規格値 を満足し、そのばらつき が規格値の概ね50%以 内で、下記の「評定対象	出来形の測定が、必要な測定 定項目について所定の測定 基準に基づき行われて活 あり、測定値が規格値を満足 し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記 の概ね50%以項目」の3項 目以上が該当する。	測定項目について所定の 測定基準に基づき行われ ており、測定値が規格値 を満足し、そのばらつき が規格値の概ね80%以	出来形の測定が、必要な 測定項目について所定の 測定基準に基づき行われ ており、社のではが規格値が を満足し、そのがはあった が規格値の概ね80%以 内で、下記の「罪とが数 項目」の2項目以上が該 当する。	出来形の測定が、必要な 測定項目について所定の 測定基準に基づき行われ ており、加定値が規格値 を満足し、a~b'に該 当しない。	出来形の測定方法又は測定 値が不適切であったため、 監督職員が文書で指示を行 い改善された。	出来形の測定方法又は測定 値が不適切であったため、 検査職員が修補指示を行っ た。
		□ 社内の管理基準に基 □ 不可視部分の出来形 □ 写真管理基準の管理	把握できるよう、出来形 でき管理していることが が写真で確認できる。 項目を満足している。 められていない工種につ	確認できる。				
			0 項目 紙-4参照。 般を通じて評定するものと、 図書に示された工事目的物			·		
	判定	□ ③ 出来形管理とは、□ である。	「土木工事施工管理基準」 「土木工事施工管理基準」 設定していない工事は「c	の測定項目、測定基準及び	規格値に基づき所定の出来が	形を確保する管理体系 		

考	查項目	∃	I	種	a	a'	b	b '	С	d	e
					優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	出来形及ば、出来形とは、出来形とは、というでは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを		機械設備工事		●評価対象項目 □ お棚 を	管理が容易に把握できる 形状及び寸法の実測値が 記録が撮影基準を遭項 にいないな場別出来で遭項 で写真で確認でままとめらい にでき管理・でまるとめらいできで理し、このこのでは、このこのでは、このに、このに、このに、このに、このに、このに、このに、このに、このに、このに	よう、出来形管理図など 許容範囲内であり、出来 、出来形の確認ができる について、監督職員と協 れており、出来形の確認 れており、出来形の確認 確認できる。 いことが確認できる。	を工夫していることが確 形の確認ができる。。	認できる。とが確認できる。	□ 出来形の測定方法適切でを ・ は ・ は ・ 関連を ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	□ 出来形の定値できた。 出来がで変している。 地球はできなできます。 出来ができます。 出来ができます。 出来ができます。 は、できますます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できますます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できます。 は、できまする。 は、できます。 は、できまする。 は、できまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな
			※上記欄によ 当該欄で評価 判定		●判断基準 評価値が90%以上・ 評価値が80%以上90%末 評価値が70%以上80%未 評価値が60%以上70%末 評価値が60%未満	満 ・・・・ a' 満 ・・・・ b 満 ・・・・ b'	! る。 ! ② 削除項 ! て、計算し ! ③ 評価値 ! (10)	評価対象項目」のうち、評値 目のある場合は削除後の評値 た比率(%)計算の値で評値 (0%) =該当項目数(0)/ 削除後の評価対象項目数が2。	画項目数を母数とし I 画する。 I /評価対象項目数 I		

考	査 項	目	工種	a	a'	b	b '	С	d	e
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	出来形及は出来形成は出来形成は出来形成は、		電気設備工事 通信設備工事 受変電設備工事	機器等の測定(試験 写真管理基準の管理 不可限事で定められる 設備全般にわたり、 設備金般にわたりり、 設備の扱び配線が設計 同時をなどを表示した 配管及び配線が設計 ので定などを表示した	管理が容易に把握できる。 (2) 結果が、その都度管理 連貫を満足してきる。 ではります。 ではないで管理値で出来がままる。 では、では来が、設計という。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	図表などに記録され、適 について、監督職員と協 容範囲内であることがる 図書とおり施工している 設しまないることでいる 設しまないなことが確認 でいることが取り付け で、設計図書の仕様を満 で、設計図書の	切に管理していることが 議の上で管理しているこ 認できる。 ことが確認できる。 きる。	確認できる。とが確認できる。	□ 出来形の測定方法 現に値が水め、 監督職員が改善された。	□ 出来形の測定方法 図が変形である。 出来形の測定を作れる。 はないでで はないで はないで はないで でで でで でで でで でで でで でで でで でで
			※上記欄によらず、 当該欄で評価 判定 C	●判断基準 評価値が80%以上90%未 評価値が80%以上90%未 評価値が70%以上80%未 評価値が60%以上70%未 評価値が60%未満	満 ・・・・ a' 満 ・・・・ b 満 ・・・・ b'	! る ! ② 削除項 ! て、計算し! ! ③ 評価値 ! (11)	評価対象項目」のうち、評価 目のある場合は削除後の評値 た比率 (%) 計算の値で評値 (0%) =該当項目数 (0) / 削除後の評価対象項目数が 2	画項目数を母数とし I 画する。 I /評価対象項目数 I		

考	鱼 垻 日	細	a	a	b	b ·	С	d	e
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	出来形及び出来ばえ	II. 品質 コンクリート 構造物工事	[関連基準、土木工事施] ●評価対象項目 □ コンクリートの配合 単位水量、アルカリ □ コンクリートの配合 上統強度試験に使用 歴工条件や気象条件 認できる。(寒中及 コンクリートの圧縮 る。。	骨材反応抑制等)が確認 れ時に必要な試験を実施 したコンクリート供試体 に適した運搬時間、打設時 び暑中コンクリート等を	□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不 適切であったたた 監督職員が文書 で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不 適切であったため 検査職員が修補 指示を行った。			
			□ 鉄筋の品質が、証明 □ コンクリート打設ま □ 鉄筋の組立及び加工 □ 圧接作業にあたり、	書類で確認できる。 でにさび、どろ、油等の が、設計図書の仕様を行 が、設計図書の仕様を荷 が、設計図書の仕様を満 び個数が、設計図書の仕	有害物が鉄筋に付着しな 足していることが確認で ていることが確認できる 足していることが確認で	いよう管理していること; きる。 。 きる。	が確認できる。		
						●判断基準			
		判定	率 (%) 計算の値で評 ③ 評価値 (0%) =		項目数 (13)	評	□ 50%以下 □ 80 □ a □ □ □ a' □ □ □ b □ □	%以下 □ 80%を超える	ばらつきで 判断不可能 b c c c c c (評価値) だけで評価する。

考査項目	細	別	a	a'	Ъ	b '	С		d	е
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当した	ない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及	Ⅱ. 品質		品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の	>					
び出来ば			「関連基準、十木工事施」	L管理基準、その他設計図	図書に定められた試験 ※	※ばらつきの判断は別紙-	- 4 参照。	I	□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
え	土工事		●評価対象項目		11. /2 / 3.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1		- > ////0		法又は測定値が不	法又は測定値が不
~	(切土工事)			!こらないように、排水対	筆を宝飾していることが	確認できる			適切であったため	通切であったため 通切であったため
	(9)1174)		□ 段切りを設計図書に	基づき行っていることが	飛る大心し CV ることが 独却ベキス		、監督職員が文書	、検査職員が修補		
				を行うにあたり、掘削面り		じし ブロッス こしが 強韧 づき	÷ 7		で指示を行い改善	指示を行った。
				を11 ケにめたり、堀削面と 定められた条件を満足し			· 0.		された。	
						0			C10/C.	
			□ 一層あたりのまき出□ 芝付け及び種子吹付	し厚を管理していること	か唯裕できる。	74-31 - + 7				
				を設計図書に定められた						
				を設計図書に定められた		(性能 ぐざる)。				
				·図書を満足していること		-				
				質管理に必要な試験を行	っていることか確認でき	る。				
			□ 法面に有害な亀裂が		Maria	- 1. w				
				·図書に定められた条件を	満足していることが確認	できる。				
			- その他(理由:)				
			0							
				[目」のうち、評価対象外の]		A startistics white Notice				Ţ
	<u> </u>		② 削除項目のある場率 (%) 計算の値で評	合は削除後の評価項目数を	写奴として、計算した比	●判断基準			uther — Ala	. 10 5
	判定			·恤する。 該当項目数(0)/評価対象 ¹	百日粉 (11)				判断可能	□ ばらつきで □ ************************************
	TIAL			※ヨ頃日数(0)/ 評価対象 :価対象項目数が2項目以下(□ 50%以下 □	00,00	人ト □ 80%を超える	判断不可能
			するの、HIMI及り計	Ⅲ/1≫/只日数/F 4 欠日以下	//刎口はし町Щこりつ。	90%以上	□ a	□ a'	□ b	□ b
						75%以上90%未満	□ a'	□ b	□ b'	□ b'
						値 60%以上75%未満	□ b	□ b'	□ c	□ c
						60%未満	□ b'	□ c		□ c
						注) 試験結果の打点数	等が少なくばらつきのヨ	判断がで	できない場合は評価対象項目	1(評価値) だけで評価する。

考査項目	細	別	a	a'	Ъ	b '	С		d	е
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当した	ない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及	Ⅱ. 品質		品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から	判断する<判断基準参照	>			
び出来ば			「関連基準、十木工事施」	L管理基準、その他設計図	図書に定められた試験 ※	※ばらつきの判断は別紙-	- 4 参照。	Ir	□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
え	土工事		●評価対象項目		11. /2 / 3.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1		- > ////0		法又は測定値が不	法又は測定値が不
~	(盛十・			!こらないように、排水対	筆を宝飾していることが	確認できる			適切であったため	適切であったため
	築堤工事等)		□ 段切りを設計図書に	基づき行っていることが	飛る大心し CV ることが 独却ベキス	1年100 (C (2)。			、監督職員が文書	、検査職員が修補
	架炬工尹守/			を行うにあたり、掘削面り		じし ブロッス こしんごか訳 つるき	÷ 7		で指示を行い改善	指示を行った。
				を11 ケにめたり、堀削面と 定められた条件を満足し			· 0.		された。	相外を打りた。
						0			≥10/C ₀	
				し厚を管理していること		7h=1 - 2. 7				
				を設計図書に定められた						
				を設計図書に定められた		(性能 じざる)。				
				図書を満足していること						
				質管理に必要な試験を行	っていることか確認でき	る。				
			□ 法面に有害な亀裂が		Maria	- 1. w				
				·図書に定められた条件を	満足していることが確認	できる。				
			- その他(理由:)				
			 (1) 当該「評価対象項 	[目」のうち、評価対象外の]	百日付削除する					
				合は削除後の評価項目数を		●判断基準		l		1
			率 (%) 計算の値で評		ナ外しして、日井しに比	●判例巫华	げた。	つきで半	川転可能	_ ばらつきで
	判定			/ Jo。 	項目数 (11)					
				価対象項目数が2項目以下		1/1/000	□ 50%以下 □	00,00	【ト □ 80%を超える	判断不可能
						90%以上 評 75%以上90%主港	□ a	□ a'	□ b	□ b
						価 15%以上90%未商	□ a'	□ b	□ b'	□ b'
						値 60%以上75%未満	□ b	□ b'	□ c	С
						60%未満	□ b'	□ c	□ c	c
						注) 試験結果の打点数	等が少なくばらつきのヨ	判断がて	ごきない場合は評価対象項目	1(評価値) だけで評価する。
	1									

考 登 垻 目	計 計 計 計	別	a	a	b	b	С		d	e
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当した	ない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及 び出来ば え	田 知 第 説		優れていい。 という を は で は で は で は で は で は で は で い	おり優れている らつきと評価対象項目の に管理基準、その他設計区 上げていトなことが確認で、 上げていー、法。 と認で、大処理が重であれ、養い で、大処理な質でも及びいいで、 が関がないで、 が関がないでは、 が関がないでは、 が関がないでは、 で無く無くがといるでは、 で無く無くがといるでは、 で無く無くがといるでは、 では、 では、 のの書がより、端生 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	やや優れている 履行状況(評価値)から 引書に定められた試験 % きる。 空隙が生じないよう十分 からにおける材料のかみ 計図書の仕様を満足してを 部処理が敷計図書の仕様 説型書の仕様を満足しを 部処理が敷計図書の仕様 が、材料の連結及びかみ合 なとが確認できる。 ることとが確認できる。 いることががである。 いるよりにしてい	より優れている 判断する<判断基準参照: ばらつきの判断は別紙ー に行っていることが確認 合わせ又は連結が、裏込材 いることが確認できる。 確保していることが確認 を満足していることが確認 を満足していることが確認 としていることが確認 を満足していることが確認 を満足していることが確認 をありまする。	他の評価に該当した > - 4 参照。 できる。 材の吸出しが無いよ できる。 認できる。 認できる。	: 5		_
	判定		② 削除項目のある場率(%)計算の値で評③ 評価値(0%)=	目」のうち、評価対象外のI 合は削除後の評価項目数をf 価する。 亥当項目数(0) /評価対象I 価対象項目数が2項目以下の	母数として、計算した比 頁目数 (14)	●判断基準 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満 60%未満 注) 試験結果の打点数金	□ 50%以下 □ a □ a' □ b □ b'	□ a' □ b □ b' □ c	下	ばらつきで 判断不可能

考查項目	細別	a	a'	b	b'	С	d	e				
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている				
3. 出来形及	Ⅱ. 品質	品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から	判断する<判断基準参照	>						
び出来ばえ	鋼橋工事 (RC床版工事は コンタリート構造物 に準ずる)	[関連基準、土木工事施] ●評価対象項目 【工場製作関係】 □ 鋼材の種別を、品質 溶接作業にあたり、 溶接作業にあたり、	□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不 適切であったため 、監督職員が文書 で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不 適切であったため 、検査職員が修補 指示を行った。								
		□ 溶接施工に係る施工に係る施工に係る施工に係る施工に係るで生じた 大路部の発生が見り 塗装作業にあたうり 素地調整を行き場合 塗料の空缶管理につ 塗料の品質が出荷証	 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。									
ı)							
		【架設関係】 □ ボルトの締付確認が	実施され、記録を保管し	ていることが確認できる								
		□ ボルトの締付機及び	測定機器のキャリブレー けを、中心から外側に向	ションを実施しているこ	とが確認できる。							
			、証明書類で確認できる	0		できろ						
		□ 架設にあたって、部	が 材の応力と変形等を十分 及び架設用機材について	検討していることが確認	できる。							
		できる。	及び膜厚管理を適切に行		7-24-7-4-24-14-1-14-1							
			及び展岸管理を適切に行温度、湿度、湿度、風速等の確									
					,							
ı												
ı												
ı												
ı												
		(1) Water Fatt Inv 1.1 to	in. ota zimuku	SE EL S. L. WOLFO, . J V								
		② 削除項目のある場	[目」のうち、評価対象外の3 合は削除後の評価項目数を 「価セス		●判断基準		 	 				
	判定		価する。 亥当項目数(0)/評価対象 価対象項目数が2項目以下(で判断可能 %以下 □ 80%を超える	」 ばらつきで □ 判断不可能				
		→ ④ なわ、刑所俊の評	™N	ル物inはC評価とする。	90%以上 75%以上90%未満		a'	□ b '				
					恤 cos(DL L 75s(+ 2#s		b'	□ c				
i					値 60%以上75%未満 60%未満	□ Ъ' □		□ c				
							ができない場合は評価対象項目					
		1						· -				

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及	Ⅱ. 品質	品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から	判断する<判断基準参照	>		
び出来ばえ		[関連基準、土木工事施] ●評価対象項目 【共通】 □ コンクリートの配合 、単位水量、アルカ	工管理基準、その他設計区 試験及び試験練りを行っ リ骨材反応抑制等)が確	- 4 参照。 骨材粒径、塩化物総量	法又は測定値が不 適切であったため 適切であったため 、監督職員が文書 たを行い改善 だ指示を行い改善 された。			
		□ 圧縮強度試験に使用 □ 運搬時間、打設時の 定められた条件を満 □ コンクリートの圧縮 □ 地山との取り合わせ	れ時に必要な試験を実施 したコンクリート供談体 投入高さ、締固時のが 投足していることが確認で を適切に行っていること が、証明書類で確認でき いい。	が、当該現場の供試体で ブレータの機種及び養生 きる。(寒中及び暑中コ 要な強度に達した後に型 が確認できる。	あることが確認できる。 方法が、施工条件及び気 ンクリート等を含む)	象条件に適しており、		
Ì		- その他(理由:)			
		【砂防構造物工事(治□ コンクリート打設ま	山構造物工事)】 でさび、どろ、油等の有	害物が、鉄筋に付着した	いよう管理していること	が確認できる。		
		□ 鉄筋の組立及び加工 - 施工基面を平滑に仕	が、設計図書の仕様を満 上げていることが確認で	足していることが確認で きる。	きる。	TO PROPERTY OF THE PROPERTY OF		
		□ ボルトの締付確認が □ ボルトの締付機及び	設計図書の仕様を満足し 実施され、記録を保管し 測定機器のキャリブレー	ていることが確認できる)			
		- その他(理由:)			
ı								
ı								
ı								
ı			[目」のうち、評価対象外の『					
	判定	率 (%) 計算の値で評			●判断基準	ばらつき	で判断可能	ばらつきで
	TIAC		亥当項目数(0)/評価対象 価対象項目数が2項目以下(90%以上	□ 50%以下 □ 80°	%以下 □ 80%を超える	」 判断不可能 □ b
					評 75%以上90%未満		b	□ b'
					値 60%以上75%未満	□ b □		С
i					60%未満		c C C	C C
1					圧) 試験結果の打点数	等か少なくはらつきの判断	ができない場合は評価対象項目	(評価値) だけで評価する。

考查項目	細別	a	a'	b	b'	С	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及	Ⅱ. 品質	品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から	判断する<判断基準参照	>		
3. 出来形及 び出来ば え	II. 品質 地すべり防止 工事 (集水井 工事を含む)	□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不 適切であったため 、監督職員が文書 で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不 適切であったため 、検査職員が修補 指示を行った。					
			を適切に行っていること が、証明書類で確認でき	が確認できる。	<u> </u>	で11 9 CVで。		
		□ アンカーの施工が、□ ライナープレートの□ ライナープレートと		ていることが確認できる と歪みに配慮して施工し るように施工しているこ	ていることが確認できる。 とが確認できる。			
		一 その他(理由:		EC & V & Y (ONE EE EV))	W C 20		
	判定	② 削除項目のある場率(%)計算の値で評	目」のうち、評価対象外のJ 合は削除後の評価項目数をf 価する。 g当項目数(0) /評価対象J	母数として、計算した比	●判断基準	ばらつき		ばらつきで
			価対象項目数が2項目以下の		90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満	a	b以下 □ 80%を超える a' □ b b □ b' b' □ c	判断不可能
Ì					60%未満		c □ c	□ c
					社) 武験結果の打点数	寺か少なくはりつさの判断だ	ぶできない場合は評価対象項目	八計1四個) たりで評価する。

考 査 項 目	細	別	a	a '	ь	b'	С	d	e
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及 び出来ば え	Ⅱ. 品質 舗装工事			らつきと評価対象項目の 工管理基準、その他設計[□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不	□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不		
			□ 路床及び路盤エのフ □ 路床及び路盤エの密 □ 路盤の安定処理は材 □ 路盤の施工に先立っ □ 路床盛土において、	た試験方法でCBR値を プルーフローリングを行っ 度管理が、設計図書の仕 料が均一になるよう施工 て、路床面、下層路盤工 一層の仕上がり厚を20 構造物の隣接箇所や狭い	ていることが確認できる 様を満足していることが していることが確認でき の浮き石及び有害物を除 cm以下とし、各層ごと	適切であったため 、監督職員が文書 で指示を行い改善 された。	適切であったため 、検査職員が修補 指示を行った。		
			□ 舗装工の施工にあた	関係】 Jの品質が、配合設計及び こって、上層路盤面の浮き J場到着時、舗設時等にお	石などの有害物を除去し	ていることが確認できる	0		
			□ 各層の継ぎ目の位置 □ 縦継目及び横継目の □ アスファルト混合物	、定められた条件を満足が、設計図書に定められ が、設計図書に定められ 位置、構造物との接合面 の運搬及び舗設にあたっ の仕様を満足しているこ	た数値以上であることが の処理等が、設計図書の て、気象条件を配慮して	確認できる。 仕様を満足していること	が確認できる。		
			、単位水量、アルカ 舗装工の施工に先た コンクリート受け入 圧縮強度試験に使用 運搬時間、打設できる。 大器が分離しないよ	関係】 試験及び試験練りを行っ リ骨材反応抑制等)が確 にって、上層路盤面の浮き れ時に必要な試験を実施 れ時に必要な試験を実施 としたコンクリート供試体 及び養生方法が、施工条件 、うコンクリートを敷均し にを損傷などが発生しな	認できる。 石等の有害物を除去して しており、温度、スラン が当該現場の供試体であ +及び気象条件に適してま ていることが確認できる	から施工していることが ブ、空気量等の測定結果 ることが確認できる。 らり、設計図書に定められ	確認できる。 が確認できる。		
	判定		② 削除項目のある場 本(%)計算の値で評 ③ 評価値(0%)=	[目」のうち、評価対象外の 合は削除後の評価項目数を 価する。 該当項目数 (0) /評価対象 で価対象項目数が2項目以下の	母数として、計算した比 頁目数 (22)	●判断基準 90%以上	□ b □ 1 □ b' □	以下 □ 80%を超える □ b b □ b'	ばらつきで 判断不可能

考查項目	細別	a	a'	b	b'	С	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及 び出来ば え	Ⅱ. 品質 法面工事			履行状況(評価値)から 図書に定められた試験 ※		□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不 適切であったため	□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不 適切であったため	
		□ 施工に際して、品質 □ 盛土の施工にあたり	に害となる施工面の浮き 、法面の崩壊が起こらな	きる。(特に法枠工、コ 石やゴミ等を除去してか いよう締固めを十分行っ 策を実施していることが	ら施工していることが確認できる。	認できる。	、監督職員が文書 で指示を行い改善 された。	、検査職員が修補 指示を行った。
		□ 土壌試験の結果を施 □ ネットなどの境界に □ ネットなどが破損を □ 吹付け厚さが均等で □ 使用する材料の種類		確認できる。 が確認できる。 できる。 できる。 書の仕様を満足している	ことが確認できる。)			
		□ 金網の重ね幅が、1 □ 金網が破損を生じて 吸水性の吹付け面等で 吹付け厚さが均等で 圧縮強度試験に使用 一 下れ、不良箇所が生じない	i、品質及び配合が、設計 0cm以上確保されてきる いないことが確認できるさ おいて、事前に吸水さるさ おいることが確認して施工 と層以上にクリートの供試 よう跳ね返り材料の処理		が確認できる。 る。 であることが確認できる。 できる。	o.		
		□ 使用する材料の種類 □ アンカーを設計図書 □ 現場養生が、設計図 □ 独度試験に使用した □ 枠内に空隙が無いこ □ 層間にはく離が無い	どおりの長さで施工して 書の仕様を満足するよう コンクリート供試体が当 とが確認できる。 ことが確認できる。	図書の仕様を満足してい	確認できる。 とが確認できる。			
	判定	② 削除項目のある場 率(%)計算の値で評 ③ 評価値(0%)=	目」のうち、評価対象外の 合は削除後の評価項目数を 価する。 亥当項目数 (0) /評価対象 価対象項目数が2項目以下	母数として、計算した比 項目数 (26)	●判断基準 90%以上 75%以上90%未満	ばらつきで □ 50%以下 □ 80% □ a □ □ a' □	6以下 □ 80%を超える □ a' □ b	□ ばらつきで 判断不可能 □ b b
					値 60%以上75%未満 60%未満	□ b □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	b' □ c	□ c □ c

考	鱼 垻 日	湘	別	a	a	b	b	c	d	e
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
9 H	出来形及	Ⅱ. 品質		具質関係の試験結果のけ			判断する<判断基準参照)	>	1 177	7,
		11. 四貝							口 口袋眼体 ~ 测点士	
7	び出来ば			[L官埋基準、その他設計以	🛚 書に正められた試験 🤸	(ばらつきの判断は別紙-	· 4 参照。	□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
3	え	基礎工事及7	び	●評価対象項目					法又は測定値が不	法又は測定値が不
	_	地盤改良工							適切であったため	適切であったため
		地盤以及工	尹) /w/ // /w/ // // // // // // // // // /	Tripe (mr. r)+ keke)				
					ト・鋼管・鋼管井筒、場				、監督職員が文書	、検査職員が修補
				□ 杭に損傷及び補修痕	が無いことが確認できる	0			で指示を行い改善	指示を行った。
							ており、その記録を整理し	していることが確認で	された。	11113
					(*) // (A/X O *////) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	工日生の分伝が正備でれ	(40)((4)旧歌尼亚王	していることが特別で	C407Co	
				きる。						
					杭本体を損傷していない					
				□ 水平度、鉛直度等が	、設計図書を満足してい	ることが確認できる。				
						満足していることが確認	でキス			
						削土砂等により確認でき				
							施工していることが確認~			
				□ 掘削深度、排出土砂	、孔内水位の変動及び安	定液を用いる場合の孔内	の安定液濃度並びに比重等	等が、設計図書を満足		
				していることが確認		,e.,,	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
						-n.kt.12 -n1 -nt	ナ油ロレーン、フェレバが	T - 2 7		
							を満足していることが確記			
				□ ライナープレートの	組み立てにあたり、偏心	と歪みに配慮して施工し	ていることが確認できる。			
				□ 裏込材注入の圧力な	どが施工記録により確認	できる。				
							資料を整理していることだ	が確認できる		
					ミルグ の比重自任なとの	田貝に体わる事項の官 <u>庄</u>	貝科を宝座していること	が推動しるる。		
				□ その他(理由:)			
				【地盤改良関係】						
				□ 改良材のバッチ管理	記録が整理され、設計図	書の仕様を満足している	ことが確認できる			
							ていることが確認できる。			
							ていることが確認できる。			
				□ 施工箇所が均一に改	:良されているとともに、	十分な強度及び支持力を	確保していることが確認~	できる。		
				- その他(理由:)			
				0 1 12 (12)			,			
				a wat farmus	D	# E 1 Volto 1- 4				
					目」のうち、評価対象外の					
					合は削除後の評価項目数を	学数として、計算した比	●判断基準			
		Mal d	·	率 (%) 計算の値で評				ばらつきて	で判断可能	_ ばらつきで
		判定			亥当項目数(0)/評価対象		ļ	□ 50%以下 □ 80%	6以下 □ 80%を超える	□ 判断不可能
		<u> </u>		④ なお、削除後の評	価対象項目数が2項目以下の	の場合は c 評価とする。	90%以上			□ b
							₹V	□ a □		
							行 75%以上90%未満		b 🗆 b'	□ b'
							値 60%以上75%未満	□ b □	b' 🗆 c	□ c
							60%未満	□ b' □	с 🗆 с	□ c
									びできない場合は評価対象項目	
							正/ 的规则不少引从数号	サル・ク ふくほり フログ州側に	・・・、 こっぱい 伽口は肝 川凡 多切り	4 (FI IMIE) /CV (FT IM 9 0。

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c		d	е
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当し	ない	やや劣っている	劣っている
考 査 項 F 3. 出来形及 が出来ば え	細 別	優れている品質・ では、	しまりとのでは、	やや優れている 履行状況(評価値)から 図書に定められた試験 ※ ておける。 ておける。 ことできなり、温度、スラント はできなり、温度、スラント はでが、当該さとでは、当該さいでは、当該さいでは、当該さいでは、当該さいでは、 体の投入では、世界の性が、は、一般では、 は、大人では、一般では、 は、大人では、一般では、 は、大人では、 は、 は、は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	より優れている 判断する<判断基準参照 判断する<判断基準参照 対けらつきの判断は別紙- 計算(強度・W/c、最大 であることが確認できた。 であることが確認できる。 ととが確さる。ととが確さる。 とができるできる。 とどが確さる。 にとどが確認できる。 にとができる。 にといることががきることががある。 にとができる。 にとができる。 にとができる。 にとががきる。 にとができる。 にとががきる。 にとががきる。 にはことががきる。 にはことががきる。 にはことががきる。 にはことががきる。	他の評価に該当した - 4 参照。 骨材粒径、塩化物総が確認できる。 。 流満足していることが確認 が確認できる。	念量が確		
	判定	② 削除項目のある場 率(%)計算の値で評 ③ 評価値(0%)=	「目」のうち、評価対象外の) 合は削除後の評価項目数を 価する。 該当項目数 (0) /評価対象 「価対象項目数が2項目以下の	母数として、計算した比 項目数 (18)	●判断基準 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満 注)試験結果の打点数:	□ 50%以下 □ a □ a' □ b □ b' □ b'	□ a' □ b □ b' □ c	F □ 80%を超える □ b □ b' □ c	ばらつきで 判断不可能 b

考查項	[目	細	別	a	a'	b	b'	c	d	e
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形况	₹	Ⅱ. 品質		品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の	履行状況 (評価値) から	判断する<判断基準参照	>		
び出来に		4. 叫貝					《ばらつきの判断は別紙-		□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
	7	シヘルーナ			に自座室中、ての他政司は	当者に足められた武侠 2	とはの、25の刊劇にか別が一	4 参照。		
え		塗装工事		●評価対象項目					法又は測定値が不	法又は測定値が不
						て施工していることが確	認できる。		適切であったため	適切であったため
				□ ケレンを入念に実施	していることが確認でき	る。			、監督職員が文書	、検査職員が修補
				□ 天候状況の確認、気	温及び湿度の測定を行い	、塗装作業を行っている	ことが確認できる。		で指示を行い改善	指示を行った。
						状態にしてから使用して			された。	7,1 4 2 14 - 1 - 1
						し塗装を行っていること			C 407C8	
					いて写真等で確実に空で		2.1年100 (4 2)。			
					しわ等が無く塗装されて		- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	at 377 a 3. or		
							厚を確保していることが			
					明書、塗料成績表により	、製造年月日、ロット番	号、色彩、数量が確認で	きる。		
				- その他(理由:)			
				O Wat Farming	m. a take and he to be to	er el viville le el				
					目」のうち、評価対象外の		A starting data Suffe		I	l
		<u></u>			合は削除後の評価項目数を	対級として、計算した比	●判断基準			
		和中		率 (%) 計算の値で評		西口料 (0)		ばらつきて	*判断可能 「	ばらつきで
		判定			亥当項目数(0)/評価対象:			□ 50%以下 □ 80%	以下 □ 80%を超える	[」] 判断不可能
				④ なお、削除後の評	価対象項目数が2項目以下	ル場台は c 評価とする。	90%以上	□ a □ :	 	□ b
							評 75%[X] FQ0%丰港		b	□ b'
							100 000/101 1 750/ + 2#5	□ b □		□ c
							118			□ c
							60%未満			
							注)試験結果の打点数	寺か少なくはらつきの判断が	『できない場合は評価対象項目	(評価値) たけで評価する。
		1								

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及	Ⅱ. 品質				判断する<判断基準参照			
び出来ば		[関連基準、土木工事施]	L管理基準、その他設計図	図書に定められた試験 🕺	《ばらつきの判断は別紙-	- 4 参照。	□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
え	トンネル工事	●評価対象項目					法又は測定値が不	法又は測定値が不
. –	' ' '	□ コンクリートの配合	試験及び試験練りを行っ	材粒径、塩化物総量、	適切であったため	適切であったため		
			骨材反応抑制等) が確認	111===(===============================	、監督職員が文書	、検査職員が修補		
					プ、空気量等の測定結果	が確認できる	で指示を行い改善	指示を行った。
					であることが確認できる。		された。	111.1 (2 1) / (2)
					こめられた条件を満足して		C 4 0 7 C 8	
		□ 旭工木川 (八家木川	に過じた建設が同い行政人	7亿人 6 种面 60分 亿分、	- 107 54 07 C 木 E			
		□ 吹付コンクリートの	配合及びロックボルトの	種別 規格が 設計図書	の仕様を満足しているこ	レが確認できる		
					て施工を行っていること			
				を満足していることが確		4 HEBU C C 00		
				いた施工を行っているこ				
				工していることが確認で				
		□ 吹付コンクリートの				5 cm以下で地山と密		
			いることが確認できる。) 10 A 0A C N 1	o o mort trape m		
		□ 吹付コンクリートを	打継ぎする場合は、吹付	完了面を清掃した上、湿	潤状態で施工しているこ	とが確認できる。		
		□ ロックボルトの定着	長が、設計図書の仕様を	満足していることが確認	できる。	211 1122 1 2 3 0		
					ルタルや保護マット等で	防護対策を行っている		
		ことが確認できる。						
		□ 逆巻きの場合におい	て、側壁コンクリートと	アーチコンクリートの打	継目が同一線上で施工し	ていないことが確認で		
		きる。						
		- その他(理由:)			
		ĺ					1	
			[目] のうち、評価対象外の				1	
			合は削除後の評価項目数を	母数として、計算した比	●判断基準		•	•
	和中	率(%)計算の値で評		FF F W (4.4)		ばらつきて	等判断可能 。	」 ばらつきで
	判定		亥当項目数(0)/評価対象:			□ 50%以下 □ 80%	以下 □ 80%を超える	判断不可能
		4	価対象項目数が2項目以下	ル物in は C 計価とりる。	90%以上	□ a □	a' 🗆 b	□ b
		ĺ			75%以上90%未満	□ a' □	b 🗆 b'	□ b'
					60%以上75%未満	□ b □		С
					60%未満	□ b' □		С
					注) 試験結果の打点数	等が少なくばらつきの判断が	『できない場合は評価対象項目	(評価値) だけで評価する。
	1	1						

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	е
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及	Ⅱ. 品質	品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から	判断する<判断基準参照	>		
び出来ば			L管理基準、その他設計E				□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
	植栽工事	●評価対象項目		ヨロ・ロハロック・フィックに呼ばた 人		1 >> ////0	法又は測定値が不	法又は測定値が不
え	但权上尹		竺田1 テレ、フェ 1 バームニコ	元キフ				
		□ 活着が促されるよう	管理していることが確認	できる。			適切であったため	適切であったため
			ちくずれ等が無いよう保証	蹇養生を行っていることだ	『確認できる。		、監督職員が文書	、検査職員が修補
			ある害虫等がいないこと	が確認できる。			で指示を行い改善	指示を行った。
		□ 施工完了後、余剰枝	の剪定、整形その他必要な	ご手入れを行っていること	が確認できる。		された。	
			に触れないよう均一に施				5	
			て、余裕のある植穴を堀					
			いよう設置していること					
			いより臥直していることい場所に据付けているこ					
			い場別に据刊りているこ	とが帷帖できる。	`			
		- その他(理由:)			
		The Cappendian	10. 0 t + ##### 4 0 0	第日 に物理へ上マ				
			[目」のうち、評価対象外の]		A short they did to Safe.		1	I
			合は削除後の評価項目数を	す奴として、計算した比	●判断基準			
	和中	率(%)計算の値で評		エロギ (0)		ばらつき	で判断可能	」 ばらつきで
	判定		亥当項目数(0)/評価対象			□ 50%以下 □ 80	%以下 □ 80%を超える	判断不可能
		④ なお、削除後の評	価対象項目数が2項目以下の	ル場台は c 評価とする。	90%以上	□ a □	,	□ b
					評 750/11.000/土油	_ a' _		□ b'
					1000/101 550/-1-3#5	□ b □		□ c
					60%未満			C C
					任) 試験結果の打点数	寺か少なくはらつきの判断	ができない場合は評価対象項目	(評価値) たけで評価する。
	1	1						

考望	至 項 目	細	別	a	a'	b	b '	С	d	e
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出	来形及	Ⅱ. 品質		品質関係の試験結果のは	ばらつきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から	判断する<判断基準参照	>		
び	出来ば			[関連基準、土木工事施	工管理基準、その他設計図	図書に定められた試験 🕺	※ばらつきの判断は別紙-	- 4 参照。	□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
え		防護柵 (網)工事	●評価対象項目					法又は測定値が不	法又は測定値が不
		D 4 100 (11 4	, _ ,		線誘導標設置基準、道路標	識ハンドブック等の規定	を満足していることが確認	認できる。	適切であったため	適切であったため
					仕上がり面において、地				、監督職員が文書	、検査職員が修補
)施工にあたって、無筋及				で指示を行い改善	指示を行った。
					M工にあたって、既設舗装 M工にあたって、既設舗装				された。	187. 2 11 272.
					これにめたって、呪い品級いて地盤の地耐力を把握し			, a) o	C401Co	
					、長が、設計図書の仕様を					
					、氏が、最前因音の位像を で柱に取付ける場合、設計			初でキス		
					R柱に取りける場合、設計 R末支柱を土中に設置する					
				とが確認できる。	11 人人性を上中に改直する	場口、打成したコングリ	一下が成計凶音に定めり	4いに 照及以上 しめるこ		
)区画線に使用するシンナーの	 	セステ L が加到 ベモス			
					「公園線に使用するが」が 等で設計図書の仕様を満					
					寺(成計図音の仏像を個 及び夜間の視認性が、設					
					1及い牧间の悦齢性が、故こって 設置路面の水分、※			よびかかったもって		
					-つ C					
					1、衣小材(室材)のみの	除去となつしわり、始田	への影響が取り限となっ	ていることが確認でき		
				る。 □ プライマーの施工に	こあたって、路面に均等に	全 左していることが確認	できる			
					-めたりて、路面に均等に 3計図書の仕様を満足して		(60)			
				□ 区画線の材料が、前一 その他(理由:	(司囚音の仏像を側定して	いることが推診しるる。)			
				ての他 (建田・			,			
				① 当該「評価対象項	[目」のうち、評価対象外の	項日 け削除する				
					最合は削除後の評価項目数を は		●判断基準		ı	1
				率 (%) 計算の値で割		,	→ DELW+	げらつ	きで判断可能	_ ばらつきで
		判定		③ 評価値 (0%) =	該当項目数(0)/評価対象				0%以下 □ 80%を超える	判断不可能
		<u> </u>		④ なお、削除後の割	F価対象項目数が2項目以下	の場合は c 評価とする。	90%L/L F		1 a'	b
							評 75% P.I. L.00% 土港			□ b'
							(1) (1) (1) (1) (1) (1)] b' □ c	□ c
							値 60%以上75%未満	□ b' □		□ c
									」	
							正/ 的疾怕木切打点数	サルン 体へはり フさり汁	9177. くこ ない物口は肝川刈 外側	日田川田ノルリス町田りる。

考 査 項 目	細別	a	a'	b	b'	С	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及	Ⅱ. 品質	品質関係の試験結果のば	らつきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から	判断する<判断基準参照	>		
び出来ば		[関連基準、土木工事施]	L管理基準、その他設計図	図書に定められた試験 🥉	※ばらつきの判断は別紙-	- 4 参照。	□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
え	標識工事	●評価対象項目					法又は測定値が不	法又は測定値が不
			泉誘導標設置基準、首路標	識ハンドブック等の規定	を満足していることが確認	認できる。	適切であったため	適切であったため
				山の乱れや不陸が生じな			、監督職員が文書	、検査職員が修補
				び鉄筋コンクリートの規			で指示を行い改善	指示を行った。
				面へ影響が無いよう施工			された。	184.5 (1) 275.
				て、施工していることが		,a,	C 4 07 C o	
				満足していることが確認				
				図書に定められた所定の		切づきる		
				場合、打設したコンクリ				
		とが確認できる。	木文性を上中に成直する	場口、打成したコングリ	一下が成司凶音に定めり	40に強及以上 こめるこ		
			マ両約には田士をいたの	使用量が、10%以下で	もステレが確認できる			
				足していることが確認で				
				計図書の仕様を満足して				
				TI凶音の仏像を個足して R、砂じん及びほこりを用		・パかずりついたフ		
				E、砂しん及いはこりをF 除去となっており、路面				
		□ 区画線を消去の場合る。	、衣小竹(室科)のみの	除去となつしわり、始田	への影響が取小阪となつ	ていることが確認でき		
			あたって 路面に均等に	塗布していることが確認	できる			
			計図書の仕様を満足して					
		- その他(理由:	THE E PLACE HAVE O	. 0 2 2 % 142 142 1 2 0 0)			
					,			
			目」のうち、評価対象外の		- 1 11.34		1	
i			合は削除後の評価項目数を	学数として、計算した比	●判断基準			
	判定	率 (%) 計算の値で評 ③ 評価値 (0%) = 1	·恤する。 亥当項目数(0)/評価対象:	百日粉 (15)			で判断可能	ばらつきで ばらつきで
	1.17		の				%以下 U 80%を超える	判断不可能
			IMATERIAL STATES	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	90%以上	□ a □		□ b
					a 15%以上90%未海	□ a' □	b 🗆 b'	□ b'
					値 60%以上75%未満	□ b □		□ c
					60%未満		C C C	C C
					社) 試験結果の引息数	寺か少なくはらつさの判断	ができない場合は評価対象項目	H(評価値) たけで評価する。

3. 出来形及 び出来ば え	きる。 套認できる。	やや劣っている □ 品質関係の測定方法又は測定値だたた、適切であったた文書で指示を行い改善された。	劣っている □ 品質関係の測定方法又は測定にたたため、検査職員のが修補指示を行った。
び出来ば え 区画線工事 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ●評価対象項目 □ 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認でき □ 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確 □ 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認で	きる。 套認できる。	法又は測定値が不 適切であったため 、監督職員が文書 で指示を行い改善	法又は測定値が不 適切であったため 、検査職員が修補
び出来ば え 区画線工事 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験 ※ばらつきの判断は別紙-4参照 ●評価対象項目 □ 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認でき □ 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確 □ 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認で	きる。 套認できる。	法又は測定値が不 適切であったため 、監督職員が文書 で指示を行い改善	法又は測定値が不 適切であったため 、検査職員が修補
え	É認できる。	法又は測定値が不 適切であったため 、監督職員が文書 で指示を行い改善	法又は測定値が不 適切であったため 、検査職員が修補
□ 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認でき □ 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確 □ 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認で	É認できる。	適切であったため 、監督職員が文書 で指示を行い改善	適切であったため 、検査職員が修補
□ 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確 □ 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認で	É認できる。	、監督職員が文書 で指示を行い改善	、検査職員が修補
□ 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認で		で指示を行い改善	
	C C '0'		10/1/5/11 2/50
□ 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。		C401Co	
□ 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。			
□ 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。			
□ が設備の文柱の依代表が、設計図書のは様を個定していることが確認できる。 □ ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認でき	6 Z		
□ ガードケーブルを文任に取付しる場合に、取引図音に足のられた同足の張力をするているのか解析をして □ ガードケーブルの端末支柱を十中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強			
□ ルー・トノーノルの海本文性を上下に改直する場合、打成したユングラードが設計図音に定められた法。 とが確認できる。	民及以上しめるこ		
□ ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。			
□ 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。			
□ 区画線がひ戻さが兄本寺で改計図書の11棟を摘足していることが確認できる。 □ 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。			
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	却ったマ		
□			
	3 ことが唯能でき		
│ る。 │□ プライマーの施工にあたって、路面に均等に途布していることが確認できる。			
□ 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。			
□ ○四級の付付が、成計図音の1上版を側をしていることが確認できる。 - その他(理由:)			
(空間) (空田・)			
(1) 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する			
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、計算した比 ●判断基準			
② 田崎水漬日火める場合は田崎大阪の町山畑内日敷を中敷として、田寿した山 率(%) 計算の値で評価する。	げ とへまっ	机构电影	げたハキで
判定 ② 並压防 (00/) 二弦火炬日粉 (0) /延压处免疫日粉 (15)	ばらつきで		ばらつきで ばらつきで
④ かお 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、評価とする.	50%以下 □ 80%	以ト □ 80%を超える	判断个可能
			□ b
(新世祖) (13%以上90%末海 日本	a' b		□ b'
fi 60%以上75%未満 □			□ c
	b' c		_ c
注)試験結果の打点数等が少な	なくはらつきの判断が	でさない場合は評価対象項目	(評価値) たけで評価する。

考 査 項 目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及	Ⅱ. 品質	品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項目の			>		
び出来ば	п. шд		L管理基準、その他設計E				□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
	毒 約 1. 日本マネ		上日生基中、 てい他以前に	当首に足のり40元的級 2	とはり フラップ判断によかれ	4 Ø//R。		
え	電線共同溝工事	●評価対象項目					法又は測定値が不	法又は測定値が不
		□ 指定材料の規格が、	品質を証明する書類で確	認できる。			適切であったため	適切であったため
			っており、試験結果から		とが確認できる。		、監督職員が文書	、検査職員が修補
			場到着時、舗設時等にお			いろことが確認できる	で指示を行い改善	指示を行った。
			130 24 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			. 0 C C 2 PERC C C 0	された。	10/1/5/11 >/5%
			+++1 ++1 ++2 +	5 1-11	1-11.1 1 15-1 7 - 1 15-26-	±1 -c + 7	C40/Co	
			支持力が、均等となるよ					
			いて、隣接する各ブロッ	クに目違いによる段差及	び蛇行等が無いより敷設	していることが確認で		
		きる。						
		□ 埋戻しにおいて、設	:計図書の仕様を満足して	いることが確認できる。				
		□ 舗装の復旧等が適時	行われ、路面の沈下や不	陸が無く平坦性を確保し	ていることが確認できる。			
			の設置及び土被りが、設			•		
			れぞれの管の最小曲げ半					
		- その他(理由:	40 C 4 0 0 7 目 0 7 取 / 1 · 皿 () 十	圧を個定していることが	ル田中心 くら の。			
		- その他 (建田:			,			
		1						
		1						
		 当該「評価対象項 	[目」のうち、評価対象外の]	項目は削除する				
			合は削除後の評価項目数を		●判断基準		1	'
ľ		率 (%) 計算の値で評			→ 1391227	げたへきつ	で判断可能	_ ばらつきで
	判定		/ Jo。 	項目数 (9)				
	1 7/2		価対象項目数が2項目以下				6以下 □ 80%を超える	判断个可能
			mu 20~ 8日 30 / 7 2 7 8日 / 8 1 1 1	- / M List C PI IM C y 'O'o	90%以上	□ a □	a' 🗆 b	□ b
		1			評 75%以上90%未満	□ a' □	b □ b'	□ b'
		1			(m) (200/1)/ 1 (750/ + 2#s	_ b _		
		1			値 60%以上75%未満 60%未満		c	□ c
		1						
					社) 試験結果の打点数	寺か少なくはりつさの判断だ	ぶできない場合は評価対象項目	(評価値) たけで評価する。
	ı	i e						

考	查項目	細	別	a	a'	b	b'	С	d	е
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3.	出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品 推行清代、 「工除等)	、除草 物工、	優れている ●評価対象項目 □ 使用する材料の品質 。 ・ 構造物の劣化状況を ■ 監督職員の指示事項 ることが確認できる	・形状等が適切であり、よく把握して、適切な対に対して、現地状況を勘	かつ現場において材料確 策を施していることが確 案し、施工方法や構造に	認を適宜・的確に行って 認できる。 ついての提案を行うなど	いることが確認できる	やや劣っている □ 品質関係の測定方 温質関係の測定方 温質関係の適にたれ 適に変わる。 監打である。 になっている。 には切ってある。 には切ってある。 にはなった。	劣っている □ 品質関係の測定方法切でを変えている。 □ は関連を表する。 □ は関連を表する。 □ はで、表する。 □ は、表する。 □ は、表する。 □ は、まずる。 □ は、まずる。
		判定			· · · · · · a' · · · · · b · · · · · b'	項目を追加	4 項目を必須の評価対象項目 して評価するものとする。 西対象項目は最大 8 項目とす			

考	査 項 目	細	別	a	a'	Ъ	b '	С	d	е
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	重 出来形成ば 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	Ⅱ. 品質 修繕工事 (橋海神強 (耐震防止等	â,	優れている ●評価対象項目 □ 使用する材料の品質 。 ・ 構造物の劣化状況を ・ 監督職員の指示事項 ることが確認できる	bより優れている ・形状等が適切であり、 よく把握して、適切な対 に対して、現地状況を勘	やや優れている かつ現場において材料確 策を施していることが確 案し、施工方法や構造に	cより優れている 認を適宜・的確に行って 認できる。 ついての提案を行うなど	他の評価に該当しないいることが確認できる 積極的に取り組んでい		
		判定			· · · · · · a' · · · · · · b · · · · · · b'	項目を追加	4項目を必須の評価対象項目 して評価するものとする。 価対象項目は最大8項目とで			

考查項目	細 別	a	a '	l b	b'	С	d	使宜貝 e
<u> </u>	7,1-	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及 び出来ば え	II. 品質 機械設備工事	●評研報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報	合がまたででは、 会がまたに管管で、、 会がまた詳細にででででは、 でででででできない。 会がまえた野理項目につくででできない。 ででででできない。 ででででできない。 でででででできない。 でででででできない。 でででででできない。 でででででできない。 ででででででいる。 ででででででいる。 でででででいる。 ででででででいる。 をででででいる。 をでいる。 ででいる。 をでいる。 ででいる。 をでいる。 ででいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をにてい	整理し品質の確認ができ 保まれ、品質の確認がで 承諾図書として提出して れ、品質の確認ができれ、品質の確認ができ 管理書類を整理し品質の 灯が承諾図書のとおり配 ・性能確認試験について 敷設していることが確認 できる。 交換方法について、まと	る。きる。 いることが確認できる。 確認ができる。 確認ができる。 確認ができる。 置され、操作性にすぐれ 、試験書類を整理し品質 、さることが確認できる。 とが確認できる。 とが確認できる。 とが確認できる。 とが確認できる。 ととのことが確認できる。 きる。 きる。	ていることが確認でき の確認ができる。 る。 ることが確認できる。 きる。	□ 品質関係の測定方 法又は測定をたため 選別であった文書 で指示を行い改善 された。	品質関係の測定方 法又は測定値が不 適切でで職員でったが 横査行った。
	判定	●判断基準 ※ 評価値が80%以上90 ※ 評価値が70%以上80 ※ 評価値が60%以上70 ※ 評価値が60%未満	%未満 ・・・ a' %未満 ・・・ b %未満 ・・・ b'	する ② 削除項 て、計算し ③ 評価値 (19)	評価対象項目」のうち、評価 目のある場合は削除後の評値 た比率(%)計算の値で評値 (0%)=該当項目数(0)/ 削除後の評価対象項目数が2	西項目数を母数とし 西する。 /評価対象項目数		

檢查員

老 木 百 日	公田 早日		. ,	l h	h,		1	検査員
为 且 仅 口	州山 刀门			やや優れている	· ·			
考 査 項 目 3. 出来形及 びええ	組 別	対料・で記録のは、	社会の結果が品質保証書等 なび性能が設計図書を満足 な灯が承諾図書のとおり配 が接続などの作業が、施工 とが、設計図書の仕様を満 と及び性能が、設計図書の 設計図書の仕様を満足し 設計図書の仕様を満足し が、設計図書の とび、設計図書の とび、設計図書の とび、で に に に に に に に に に に に に に	して、成績書にまとめら 置され、操作性に優れて 計画書に記載された手順 足していることが確認で 仕様を満足しているとと ていることが確認できる が確認できない場合にお (修繕(改造・更新含む 及び箇所を明示している	認でき、設計図書の仕様れていることが確認できる。 いることが確認できる。 に沿って行われ、不具合 きる。 もに、必要な安全装置及 。 いて、工場試験などで確 か)の場合は、修正又は更	る。 が無いことが確認でき び保護装置の作動が確 認していることが確認 新)していることが確	d やや劣っている □ 品質 係の測定 方 次の 測定 方 次の 測定 が 次の 測定 が 水の 測定 が 水の 表 で お か で 報 資 で を 報 で で お か で ま か た 。	e 劣っている □ 品質関係の測定方法又はある、検索を行ったを ・ 指示を行った。
	判定	●判断基準 ※ 評価値が80%以上90 ※ 評価値が70%以上80 ※ 評価値が60%以上70 ※ 評価値が60%以上70 ※ 評価値が60%未満	1%未満 ・・・ a' 1%未満 ・・・ b 1%未満 ・・・ b'	する ② 削除項 て、計算し ③ 評価値 (12)	評価対象項目」のうち、評価 目のある場合は削除後の評価 た比率(%)計算の値で評 (0%) =該当項目数 (0) / 削除後の評価対象項目数が:	画項目数を母数とし 画する。 /評価対象項目数		

考	査 項 目	細	別	a	a'	b	b '	С	d	е
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質 通信設備工業 受変電設備 工事	事	□ 材料及び構成部品の る。 □ 材料の品質照合の結 できる。 □ 設備、機器の品質、	ている品質管理を実施し 品質及び形状について、 手が、品質保証書等(現 機能及び性能が、成績等 接続などの作業が、施工	□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不 適切であったため 、監督職員が文書 で指示を行い改善 された。	□ 品質関係の測定方 法又は測定値が不 適切であったため 、検査職員が修補 指示を行った。			
			ることが確認できる。 認できる。 きる。 できる。							
				●判断基準 ※ 評価値が90%以上 ※ 評価値が80%以上90 ※ 評価値が70%以上80 ※ 評価値が60%以上70 ※ 評価値が60%未満	9%未満 ・・・ a' 9%未満 ・・・ b 9%未満 ・・・ b'	する ② 削除項 て、計算し ③ 評価値 (12)	評価対象項目」のうち、評価 目のある場合は削除後の評価 た比率(%)計算の値で評価 (0%)=該当項目数(0)/ 削除後の評価対象項目数がよ	西項目数を母数とし 西する。 /評価対象項目数		
		判定								

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及	Ⅱ. 品質	品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項目の	履行状況(評価値)から	判断する<判断基準参照	>		
び出来ば					《ばらつきの判断は別紙-		□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
	公園施設整備			コロ(C/C/C/) フ4 0/C pr (ig)大 /	ハマラック・ショウロマかか	· ≫ ////0		
え		●評価対象項目 ■ 日 55 第 7 8 8 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					法又は測定値が不	法又は測定値が不
	工事	□ 品質管理の実施状況					適切であったため	適切であったため
		□ 材料、部材の品質及	び形状の状況及び証明書	の整備の状況			、監督職員が文書	、検査職員が修補
		□ 遊戯施設等の機能と	安全性の状況及び証明書	の整備の状況			で指示を行い改善	指示を行った。
		□ 園路等の路盤工に係	る現場密度試験の実施状	況及び管理状況			された。	10 1 2 11 1 2
			係る配合報告書による配				C 407C8	
			の継ぎ目の処理の状況	D MITTO MAN				
		□ 排水勾配の確保の状		- 14 = 115 N= = 48 H= - 15	\			
			よる修贯効果同上につい	ての検討状況及び施工状	况			
		- その他(理由:)			
	1							
	1							
	1	 当該「評価対象項 	[目] のうち、評価対象外の	項目は削除する				
	1	② 削除項目のある場	合は削除後の評価項目数を		●判断基準		•	•
		率 (%) 計算の値で評			J 1361227	ばらつきて	*判除可能	」 ばらつきで
	判定		亥当項目数(0)/評価対象	項目数 (8)				
			価対象項目数が2項目以下			□ 50%以下 □ 80%		判断不可能
		3 244 MINISTER			90%以上	□ a □ a		□ b
	1				75%以上90%未満	□ a' □	b □ b'	□ b'
	1				値 60%以上75%未満	□ b □ 1	o' 🗆 c	□ c
	1				60%未満		с 🗆 с	□ c
	1						、 <u> </u>	
					正/ 时候和木切打点数	サルフォトはり フログ州例か	・くこない勿口は肝皿刈豕切日	(中) 1 (日) 1 (日

考 査 項 目	細別	a	a'	b	b'	С	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
3. 出来形及	Ⅱ. 品質	品質関係の試験結果のは	らつきと評価対象項目の			>		
	下水道工事		L管理基準、その他設計E				□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
	一小坦工事		上百年至午, (7)他放前2	MT (C) (C) (D) (D) (C) (N) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	(はり)らり戸内はかが	4 %/K°		
え		●評価対象項目 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					法又は測定値が不	法又は測定値が不
		□ 品質管理の実施状況					適切であったため	適切であったため
		□ 材料の品質規格証明					、監督職員が文書	、検査職員が修補
		□ 管渠(管布設・矩形	渠布設、推進、シールド)工における出来形管理	の状況及び目立った屈曲・	や沈下の有無	で指示を行い改善	指示を行った。
			クラックや変形の有無				された。	
		□ 管渠における漏水値					2,17,20	
			:滑材や接着剤等のはみ出	1 笙の右無				
			ホール連結部の目地仕上					
				1) 074/VIC				
		□ 推進管の裏込め材料		Abden a los los and los as	d to the nation			
			出来形管理の状況及び連		・止水コムの使用の状況			
			におけるクラック等や漏	水の有無				
			物や鉄蓋の設置の状況					
		□ インバートの形状、	勾配等の状況及び漏水の	有無				
		□ インバートの表面仕	上げの状況					
		□ 桝の天端の周辺地盤	とのなじみ及び土地境界	石、その他周辺の復旧仕	上げの状況			
			ける屈曲や沈下の有無	.,				
		□ 施設内の清掃の状況						
			や、推進時の掘削方法に	トス 周辺地般への影響	の米湿			
			の状況及び工事終了後の		~>~\bL			
				化1の月無				
			道路付属物の復旧の状況					
		□ 跳ね返り材料の処理	!の状况					
		- その他(理由:)			
								1
								1
		① 当該「評価対象項	[目」のうち、評価対象外の]	項目は削除する				1
			合は削除後の評価項目数を		●判断基準		•	'
ľ		本 (%) 計算の値で評			●1761237	げらつき	で判断可能	_ ばらつきで
	判定		亥当項目数(0)/評価対象	項目数 (21)				□ 判断不可能
ļ			価対象項目数が2項目以下		00%DL		74911 —	
				-	90%以上 評 75%以上00%去港	□ a □		□ b
					価 15%以上90%不何	□ a' □		□ b'
					値 60%以上75%未満	□ b □		□ c
					60%未満	□ b' □	с 🗆 с	□ c
					注) 試験結果の打点数	等が少なくばらつきの判断	ができない場合は評価対象項目	1(評価値)だけで評価する。

考	企 垻 日	細別	a	a	b	b	С	d	e
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	世界形及び出来ばえ	II. 品質 水道施設工事	優保 では 質素 では できない では できない では できない できない できない できない できない できない できない できない	の一点では、 の一。 の一。 の一。 の一。 の一。 の一。 の一。 の一。	やや優れているから。 をや優れてい値)から。 でおいったでは、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点	より優れている 判断するく判断基準参照: はちつきの判断は別紙一 認を適宜・的確に行ってい に取り組んでいることがで きる。 き質(強度・w/c、最大性 きる。 きる。 審査制度の証明書類により 確認できる。	他の評価に該当しない > - 4 参照。 いることが確認できる 確認できる。 骨材粒径、塩化物総量		_
			□ 床堀箇所の湧水及び 締固めが設計図書に CBR筋験などのて、コンクリートンプにいり ・ 鋼材の品質が配明 ・ 二次製品の品質 ・ 乙分象物に有害なクラ	滞水等は、排除して施工 定管理に必要な試験を行 短り過ぎが無く施工して 掘り過ぎが無く設置して 事類で確認できる。 の書類(現物照合)が整	していることが確認できるでいることが確認できる。 ていることが確認できる。 いることが確認できる。 いることが確認できる。 理されており、設計図書	る。	ていることが確認でき		
		No. c-	② 削除項目のある場率(%)計算の値で評		母数として、計算した比	●判断基準	ばらつき~	で判断可能	_ ばらつきで
		判定		亥当項目数(0)/評価対象 価対象項目数が2項目以下の		90%以上	□ 50%以下 □ 80% □ a □	ん以下 □ 80%を超える □ a' □ b	判断不可能 □ b
		,				価 75%以上95%未満 (15%以上75%未満)	□ a' □ □ □ b □		□ b'
						値 60%以上75%未満 60%未満	□ b □ □		□ c □ c
ì								できない場合は評価対象項目	

考 査 :	項目	細	別	a	a'	b	b'	С	d	e
, <u> </u>		// /	,,,,	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
о III 45 ж	4 TZ	Ⅱ. 品質			ばらつきと評価対象項目の				(()) > (()	25 2 6 6 8
3. 出来刑		11. 前負								
び出来	そば				工管理基準、その他設計図	凶書に定められた試験 %	《はらつきの判断は別紙-	- 4 参照。	□ 品質関係の測定方	□ 品質関係の測定方
え		その他		●評価対象項目					法又は測定値が不	法又は測定値が不
		(情報ボ	ックス	□ その他(理由:)		適切であったため	適切であったため
		浚渫工等		□ その他(理由:			í		、監督職員が文書	、検査職員が修補
				□ その他 (理由:			(
		または合					?		で指示を行い改善	指示を行った。
				□ その他(理由:)		された。	
				□ その他(理由:)			
				□ その他(理由:)			
				□ その他(理由:			ý			
				□ その他(理由:			í			
				ロ ての他 (连田・			,			
									1	ı
								1, 10 A 1 - 1 - 2 - 2 - 1 - 1 - 1 - 2 - 2 - 1 - 1	b	
							□ 対象工事が	ばらつきによる評価が適切	な上事	
							 当該「評価対象 	東項目」のうち、評価対象外	の項目は削除する	
							② 削除項目のある	る場合は削除後の評価項目数	で日数として、計算した比	
							率 (%) 計算の値で	で評価する。		
								=該当項目数(0)/評価対	計象項目数(8)	
							④ なお、削除後の	つ評価対象項目数が2項目以	「下の場合は c 評価とする。	
		1								
		I		- 1						
				●判断基準						
		1		□ <a>対象工事が	ばらつきによる評価が不適り	刃な工事				
				ex)浚渫工、取壊	工等					
		1			%以上 · · · · · · a					
					%以上90%未満 ・・・ a'		●判断基準			
		<u> </u>			%以上80%未満 ・・・ b		●判例盔华	1,22 4	s Jaillet t Als	
		判定			%以上70%未満 ・・・ b'			ばらつきて		
		Lite			%以上10%末個 ・・・ b %未満 ・・・・・・ c			□ 50%以下 □ 80%	以下 □ 80%を超える	
		1			%末禍 ・・・・・・ c 評価対象項目数が2項目以下	の担合けっ評価レナス	90%以上	□ a □ a	a' 🗆 b	
		1		なわ、刑殊後の	 	い物ロはじ肝畑こりる。	評 75%以上90%未満 (20%)以上 75%以上 75%以上 75%以上 75%以上 75% (20%) (20%		b 🗆 b'	
		I					価 60%以上75%未満			
		I					60%以上75%未満60%未満			
		1					00%不值		C 📙 C	
		1								
		1		1						

b d a 考查項目 細 別 優れている やや優れている 他の評価に該当しない 劣っている 3. 出来形 コンクリート 構造物工事 評価対象項目 及び □ コンクリート構造物の表面状態が良い。 出来ばえ □ コンクリート構造物の通りが良い。 □ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 Ⅲ. 出来ばえ □ クラックが無い。 □ 漏水が無い。 □ 全体的な美観が良い。 土工事 (切土工事) ●評価対象項目 □ 規定された勾配が確保されている。 □ 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 □ 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 □ 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 □ 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 □ 全体的な美観が良い。 土工事 (盛土・築堤工事等) 評価対象項目 □ 仕上げが良い。 □ 通りが良い。 □ 天端及び端部の仕上げが良い。 □ 構造物へのすりつけなどが良い。 □ 全体的な美観が良い。 護岸・根固・水制工事 ●評価対象項目 □ 通りが良い。□ 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 □ 天端及び端部の仕上げが良い。 □ 既設構造物とのすりつけが良い。 □ 全体的な美観が良い。 評価対象項目 (RC床版工事はコンクリート構造 □ 表面に補修箇所が無い。 □ 部材表面に傷及び錆が無い。 □ 溶接に均一性がある。 が に準ずる) □ 塗装に均一性がある。 □ 全体的な美観が良い。 砂防構造物工事 ●評価対象項目 (治山構造物工事) □ コンクリート構造物の表面状態が良い。 □ コンクリート構造物の通りが良い。 □ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 □ クラックが無い。 漏水が無い。 □ 全体的な美観が良い。 地すべり防止工事 ●評価対象項目 (集水井工事を含む) □ 地山との取り合いが良い。 □ 天端、端部の仕上げが良い。 □ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 □ 全体的な美観が良い。

検査官

考查項目 細 別 やや優れている 他の評価に該当しない 3. 出来形 … 端内 承視目
□ 舗装の平坦性が良い。
□ 構造物の通りがつ 舗装工事 及び 出来ばえ □ 端部処理が良い。
□ 構造物へのすりつけ等
□ 雨水処理が良い。
□ 全体的な美観が良い。 Ⅲ. 出来ばえ 構造物へのすりつけ等が良い。 法面工事 ●評価対象項目 □ 通りが良い。
□ 植生、吹付等の状態が
□ 端部処理が良い。
□ 全体的な美観が良い。 植生、吹付等の状態が均一である。 基礎工事 及び 地盤改良工事 端部及び天端の仕上げが良い。 □ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 □ 地盤改良 (c評価) コンクリート橋 上部工事 (PC及びRCを対象) 評価対象項目 □ コンクリート構造物の表面状態が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端及び端部の仕上げが良い。 支承部の仕上げが良い。 クラックが無い。 □ 全体的な美観が良い。 塗装工事 (工場塗装を除く) - ::: □ x 水 根 目
□ 塗装の均一性が良い。
□ 細部セベキング ●評価対象項目 細部まできめ細かな施工がされている。 □ 補修箇所が無い。 □ ケレンの施工状況が良好である。 □ 全体的な美観が良い。 トンネル工事 評価対象項目 □ コンクリート構造物の表面状態が良い。 □ コンクリート構造物の通りが良い。 □ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 □ クラックが無い。 □ 漏水が無い。 □ 全体的な美観が良い。 植栽工事 評価対象項目 □ 樹木の活着状況が良い。 □ 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 □ 支柱の取り付けが堅固である。□ 全体的な美観が良い。

検査官

考查項目 細 別 やや優れている 他の評価に該当しない 3. 出来形 防護柵(網)工事 評価対象項目 及び … IMINI 家項目
□ 通りが良い。
□ 端部処理が中 出来ばえ 端部処理が良い。 部材表面に傷及び錆が無い。 Ⅲ. 出来ばえ 既設構造物等とのすりつけが良い。 きめ細やかに施工されている。 全体的な美観が良い。 標識工事 ●評価対象項目 □ 設置位置に配慮がある。
□ 標識板の向き並びに角度
□ 標識板の支柱に変色が無 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。標識板の支柱に変色が無い。 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 □ 全体的な美観が良い。 ●評価対象項目 区画線工事 □ 塗料の塗布が均一である。 視認性が良い。 接着状態が良い。 □ 施工前の清掃が入念に □ 全体的な美観が良い。 施工前の清掃が入念に実施されている。 電線共同溝工事 評価対象項目 □ 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 プレキャストコンクリートプロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 □ 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 □ 全体的な美観が良い。 維持工事 ●評価対象項目 (清掃工、除草工、付属物 □ 小構造物等にも注意が払われている。 きめ細かな施工がなされている。 工、 除雪、応急処理等) □ 既設構造物とのすりつけが良い。 □ 全体的な美観が良い。 修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、 評価対象項目 □ 小構造物等にも注意が払われている。 落橋防止等) □ きめ細かな施工がなされている。□ 既設構造物とのすりつけが良い。 □ 全体的な美観が良い。 機械設備工事 評価対象項目 □ 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 □ きめ細かな施工がなされている。 □ 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 □ 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 □ 全体的な美観が良い。

検査官

検査官 考查項目 細 別 やや優れている 他の評価に該当しない 3. 出来形 電気設備工事 評価対象項目 及び □ きめ細やかな施工がなされている。 出来ばえ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 動作状態において、電気的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 Ⅲ. 出来ばえ 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 全体的な美観が良い。 通信設備工事 ●評価対象項目 □ 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。
□ 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等へ 動作状態において 需領的なで終われる。□ 受変電設備工事 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 動作状態において、電気的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 全体的な美観が良い。 公園施設整備工事 ●評価対象項目 □ 施設構造物の肌、通り、収まり等仕上げの状況 □ 園路等の舗装の平坦性 遊具等の作動の状況 維持管理等の配慮の状況 □ 全体的な美観 下水道工事 ●評価対象項目 □ 仕上げの状況 □ 通りの状況 □ 附属構造物の肌の状況 □ 附属構造物の通りの状況 □ 既設構造物のすりつけの状況 □ 埋戻し及び路面復旧の状態 水道施設工事 ●評価対象項目 □ 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 □ 仕上げがよい。 □ 施工管理記録等から不可視部分の出来映えの良さが伺える。 □ 施工対象物の通りが良い。 □ 細部まできめ細かな施工がされている。 □ 全体的な美観がよい。 □ クラック、隙間、がたつき等がない。 □ 総合的な機能がよい。 その他 ●評価対象項目 (情報ボックス、浚渫工等) □ その他(理由: 合併工事 □ その他(理由: □ その他(理由: □ その他(理由: □ その他(理由:

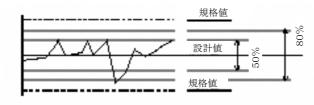
別紙—4

【記入方法及び留意事項】

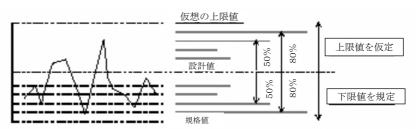
1. 出来形及び品質のばらつきの考え方

[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)



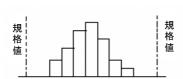
(下限値のみの場合)



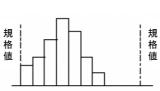
※上限値のない場合のばらつきの考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定 し、ばらつきの%を考慮する。

[度数表または、ヒストグラムの場合]

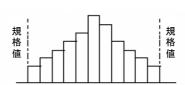
〔ばらつきが大きい〕



[ばらつきが少ない]



[ばらついている]



- 2. 多工種複合工事の取り扱い

 - (1) 主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。 (2) 評定は「合併工事又はその他の工事」欄を活用する。 (3) コンクリート橋については、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
- 3. その他
 - ・「施工プロセス」のチェックリストを活用して、評定を行う。

「施工プロセス」のチェックリスト(案)

~評定対象項目	とのリ	ンク版~
---------	-----	------

1.	工	事	名
----	---	---	---

2. 工 期 年 月 日 ~ 年 月 日

3. 受注者名

正監督員名:

①「施工プロセス」チェックリスト(案)は、共通仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されてるかを監督職員等が確認する。 ②チェック欄では、書類もしくは現場等で確認した月日、及びその内容がOKであれば□にレ点を記入し、OKでなければ、備考欄に改善通知、改善指示及びその是正状況等を記入する。

工事

③用語の定義については、契約後: 当初契約後、変更後: 工期内に行う契約変更後とする。

(1/4)

考查	細	確認項目	番	チェックリストー覧表	評定対象項目	必		-					チ	エッ	, ク	時期									備考
項目	別		号	(チェックの目安)		須	着手前	前						施	工中								完成問	寺	(改善通知・指示事項及び是 正状況等)
1 施		○契約工程表	1	・契約締結の7日以内に、契約工程表が提出された。 (契約後、変更後)	なし	•	(/)	(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/) (/)			
工体制	体	○工事カルテ	2	・事前に監督職員の確認を受け、契約締結後等の10日以内に登録機関に申請した。 (契約後、変更後、完成時)	なし		(/		(/	,	(/) (/)		/)	(/)	(/) (/) ()	
	般	○品質証明	3	・品質証明員の資格(身分及び経歴)が適正である。また、品質証明員に関する資料を書面で提出した。 (契約後、変更後)	1- I - ④		(/		(/		(/) (/)	(/)	(/)	(/) (/)			
			4	・工事途中及び検査時の事前に品質確認を行い、その結果を所定の様式により 提出した。(品質証明員を配置した工事に限る。) (検査の前等)	1- I - ④				(/	,	(/) (/)	(/)	(/)	(/) (/) (/)	
			5	・ 品質証明は、出来高、品質及び写真管理等、工事全般にわたり適切 (数量も含む) に実施した。	2- I -⑥	-			(/		(/) (/)		/)	(/)	(/) (/) (/)	
	í	○建設業退職金共 済制度等	6	・掛金収納書の写しを契約締結時に提出した。 (契約後、増額変更後)	なし		(/		(/		(/) (/)	(/)	(/)	(/) (/)			
			7	・「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識が現場に掲示している。 (施工時1回程度)	なし				(/		(/) (/)	(/)	(/)	(/) (/) (/)	
			8	・労災保険関係の項目が現場の見やすい場所に掲示している。 (施工時1回程度)	なし	•			(/	,	(/) (/)	(/)	(/)	(/) (/) (/)	
			9	・建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理している。 (施行時適時)	なし				(/		(/) (/)		/)	(/)	(/) (/) (/)	
		○請負代金内訳書	10	・契約締結後7日以内に、所定の様式で提出した。 (契約後、変更後)	なし	-	(/		(/		(/) (/)	(/)	(/)	(/) (/)			
		○施工体制台帳、 施工体系図	11	・施工体制台帳を現場に備え付け、かつ、同一のものを提出した。 (施工時の当初、変更時)	なし				(/		(/) (/)		/)	(/)	(/) (/) (/)	
			12	・施工体制台帳に下請負契約書 (写)及び再下請負通知書を添付している。 (施工時の当初、変更時)	なし				(/		(/) (/)		/)	(/)	(/) (/) (/)	
				・施工体制台帳及び添付書類の「健康保険等加入状況」に、加入又は適用除外であることを記載している。 (施工時の当初、変更時) ※平成26年5月16日付け通知、「発注者と建設行所管部局が連携した建設業者の社会保険等未加入対策について」に基づく確認	なし				(/		(/) (/)		/)	(/)	(/) (/) (/)	

-		-			_																		(2/4)
考查	細	確認項目	番	チェックリスト一覧表	評定対象項目	必							チェ	- ック	時	期							備考
項目	別		号	(チェックの目安)		須	着手前							施工	中							完成時	(改善通知・指示事項及び是 正状況等)
1 施 工		○施工体制台帳、 施工体系図 (続き)	14	・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示している。 (施工時の当初、変更時)	なし			(/)	(/)	(/)	(/)	(/) (. /) ((/)	(/)	
体制			15	・施工体系図に記載のない業者が作業していない。 (施工時 1回/月程度)	なし			(/)	(/		(/		(/)	(/) (/) ((/)		
	般			・施工体系図に記載されている主任技術者及び施工計画書に記載されている技 術者が本人である。 (施工時の当初、変更時)	なし			(/)	(/		(/	· /	(/)	(/) () ((/)		
			17	・元請負人がその下請工事の施工に実質的に関与している。 (施工時の当初、変更時)	なし			(/)	(/		(/		(/)	(/) (/) ((/)		
	C	全設業許可標識		・建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見やすい場所に設置し、監理技 術者を正しく記載している。 (施工時 1回/月程度)	なし	-		(/)	(/		(/		(/)	(/) (. /) ((/ _)		
	II(配)現場代理人	19	・現場代理人は、現場に常駐している。 (施工時 1回/月程度)	なし			(/)	(/		(/	· /	(/)	(/) (/) ((/)		
	置技		20	・現場代理人は、監督職員との連絡調整及び対応を書面で行っている。 (施工時適宜)	1- II -(5) 2- I -(9)	-		(/)	(/	,	(/)	(/)	(/) (. /) ((/)		
	術者	○専門技術者の配 置	21	・専門技術者を専任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	1- II -(2)		(/)) (/)	(/		(/	· /	(/)	(/) (. /) ((/)		
	C E	○作業主任者の配 置	22	・作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工時適宜)	1-11-(2)		(/)) (/)	(/		(/	· /	(/)	(/) (/) ((/)		
		〇監理技術者(主 任技術者)の専任	23	・資格者証の内容を確認した。 (着手前)	なし	•	(/))															
	f	削	24	・配置予定技術者、通知による監理技術者施工体制台帳に記載された監理技術者と監理技術者証に記載された技術者及び本人が同一であった。 (着手前)	なし	-	(/))															
			25	・現場に常駐していた。 (技術者専任工事に限る。) (施工時 1回/月程度)	なし			(/)	(/		(/		(/)	(/) (. /) ((/)		
			26	・施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっていた。 (施工時、打合せ時)	なし	-		(/)	(/		(/)	(/)	(/) (. /) ((/ _)		
			27	・施工に先立ち、創意工夫又は提案をもって工事を進めている。 (施工時適宜)	なし			(/)	(/		\)	(/)	(/) (/) ((/)		
		○現場技術者	28	・現場技術員の対応が適切である。 (施工時適宜)	なし			(/)	(/		(/		(/)	(/) (/) ((/)		
)下請負者の把握	29	・下請負者が宇治市の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間 中でない。 (施工時適宜)	なし			(/)	(/	′)	(/)	(/)	(/) () ((/)		

考 細 確 認 項 目	番	チェックリストー覧表	評定対象項目	必				チ	エック時	朔				(3/4)
項 目 別	号	(チェックの目安)	II ZZZŚZ	須	着手前				施工中				完成時	(改善通知・指示事項及び是 正状況等)
2 I ○設計図書の照査 施 施 エ エ	30	・契約書第18条第1項第1号から第4号に係わる設計図書の照査を行ってい る。 (着手前、施工時適宜)	1-11-④	•	(/)	(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
状 管 況 理	31	・現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出 して確認を受けた。 (着手前、変更前)	1- II - ④		(/)	(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
○施工計画書	32	・施工 (変更を含む) に先立ち、提出した。 (着手前、変更時)	1- I -②	-	(/)	(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	33	・記載内容と現場施工方法と一致している。 (施工時適宜)	1- I -⑥	•		(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		・記載内容(作業手順書等)と現場施工体制が一致している。 (施工時適宜)	なし	•		(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
		・記載内容が、設計図書・現場条件等を反映している。 (着手前、変更時)	2- I -(2)	•	(/)	(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
○施工管理・工事材料管理		・工事材料の資料の整理及び確認がされ、管理している。 (施工時適宜)	2- I -4 2- I -8			(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
・出来形、 品質管理	37	・品質管理確保のための対策など施工に関する工夫を書面で確認できる。 (施工時適宜)	なし	-		(/)	(/		(/)	(/)	(/)	(/)		
MAKEL	38	・日常の出来形、品質管理が書面にて確認できる。 (施工時適宜)	2- I -⑤ 2- I -⑥			(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
・イメージアップ	39	・特記仕様書等に定められた事項や独自の取り組み又、地域等により評価されるものがある。 (施工時適宜)	なし			(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
○検査(確認を含む)及び立会等の	40	・監督員の立合いにあたって、あらかじめ立合額を提出している。 (施工時適宜)	なし	•		(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
調整	41	・段階確認の確認時期が、適切である。 (施工時適宜)	なし			(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
○工事の着手	42	・工事開始後、30日以内に工事に着手した。 (着手前)	なし	•	(/)									
○支給品及び貸与 品	43	・受領予定14日前までに、品名、数量、品質、規格又は性能を記した要求書を提出した。 (施工時適宜)	なし			(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
○建設副産物及び 建設廃棄物	44	・受注者は、産業廃棄物管理票 (マニフェスト) により適正に処理されている ことを確認し、監督職員に提示した。	2- I -10			(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
	45	(施工時適宜) ・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。 (施工時適宜)	2- I -10		(/)	(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		
当定建設機械類の確認	46	・指定建設機械(排出ガス対策型・低騒音型・低振動型機械)を使用している。 (施工時 1回程度)	2- I -(1)			(/)	(/) (/)	(/)	(/)	(/)	(/)		

考查	確認項目	番	チェックリストー覧表	評定対象項目	必						チェ	ック	時 期						(4/4) 備 考
項目	<u> </u>	号	(チェックの目安)	II ALAISE RI	須	着手前					方	包 工 中	1					完成時	(改善通知・指示事項及び是 正状況等)
2 施	II ○工程管理 工	47	・フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。 (施工時適宜)	2- II -③ 2- II -⑦	•		(/		(/)	(/) (/ :) (/)	,	/) 	/)		
工 : 状 :		48	・現場条件変更への対応、地元調整を積極的に行い、その結果を書類で提出した。 (施工時適宜)	2- I -③ 2- II -④			(/		(/)	(/) (/)) (/)	(/)	/)		
		49	・作業員の休日の確保を行った記録が整理されている。 (施工時適宜)	2-Ⅱ-⑧	-		(/		(/)	(/) (/ :) (/)		/) 	/) 		
	Ⅲ ○安全活動 安	50	・災害防止協議会等を設置し、活動記録がある。 (施工時適宜)	2-Ⅲ-②			(/	,	(/)	(/) (/)) (/)		/) 	/)		
	全 対	51	・店社パトロールを実施し、記録がある。 (施工時 1回/月程度)	1- I -®	•		(/		(/)	(/) (/ :) (/)		/) 	/) 		
	策	52	・安全・訓練等を実施し、記録がある。 (施工時適宜)	2-Ⅲ-③			(/	,	(/)	(/) (/ :) (/)	`	/) 	/) 		
		53	・安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録がある。 (施工時適宜)	なし	•		(/	,	(/)	(/) (/ :) (/)		/) 	/) 		
		54	・新規入場者教育を実施し、記録がある。 (施工時適宜)	2-Ⅲ-④	•		(/	,	(/)	(/) (/ :) (/)	`	/) 	/) 		
		55	・過積載防止に取り組んでいる記録がある。 (施工時適宜)	2-Ⅲ-⑥			(/		(/)	(/) (/ :) (/)		/) 	/) 		
		56	・使用機械、車輌等の点検整備等が管理され、記録がある。 (施工時 1回/月程度)	なし			(/	,	(/)	(/) (/)) (/)		/) 	/)		
		57	・重機操作で、誘導員配置や重機と人との行動範囲の分離措置がなされた点検 記録等がある。 (施工時適宜)	なし			(/		(/)	(/) (/ :) (/)	(/)	/)		
		58	・山留め、仮締切等の設置後の点検及び管理の写真がある。 (施工時適宜)	なし			(/	´)	(/)	(/) (/)) (/)	(/) 	/)		
		59	・足場や支保工の組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等により実施され、記録がある。 (施工時適宜)	2-Ⅲ-⑦			(/	,	(/)	(/) (/ :) (/)	(/)	/)		
		60	・保安施設等の整理・設置・管理が的確であり、記録がある。 (施工時適宜)	2-Ⅲ-⑧			(/	,	(/)	(/) (/ :) (/)		/) 	/)		
	○安全パトロール の指摘事項の処理	61	・各種安全パトロールでの指摘事項や是正事項について、速やかに改善を図 り、かつ関係者に是正報告した記録がある。 (施工時適宜)	なし			(/	,	(/)	(/) (/)) (/)	(/)	/)		
	V ○関係機関等	62	・関係官公庁等の関係機関との折衝及び調整をした記録がある。 (施工時適宜)	2-IV-(2)		(/)	(/		(/)	(/) (/ :) (/)		/)	/)		
	外 関 系	63	・地元住民等との施工上必要な交渉、工事の施工に関しての苦情対応を適切に 行い、記録がある。 (施工時適宜)	2-IV-③ 2-IV-④		(/)	(/)	(/)	(/) (/ :) (/)	(/) 	/)		
		64	・隣接工事又は施工上密接に関連する工事の請負業者と相互に協力を行っている記録がある。	2-1V-⑤		(/)	(/	,	(/)	(/) (/ :) (/)	(/)	/)		

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況 (土木工事)

工事名		請負者名
項目	評価内容	備考
工事全体を	□ 構造物の特殊性 への対応	□ 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断) 面積、施工深度等の規模が特殊な工事 □ 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 □ 3. その他(理由:)
通して他の 類似工事に 比べて、特 異な技術力	□ 都市部等の作業 環境、社会条件	□ 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 □ 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 □ 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 □ 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 □ 8. 緊急時に対応が特に必要な工事 □ 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 □ 10. その他(理由:
	□ 厳しい自然・地 盤条件への対応	□ 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 □ 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 □ 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 □ 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 □ 15. その他(理由:)
	□ 長期工事におけ る安全確保への	□ 16.12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く)※但し、文書注意に至らない事故は除く。□ 17.その他(理由:)
□ 創意工夫 「工事特性」で評価 するほどで ない軽微な 工夫	□ 施工	□ 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。 □ コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。 □ 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。 □ 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。 □ 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。 □ 総排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。 □ 照明などの視界の確保に関する工夫。 □ 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。 □ 運搬車両、施工機械等に関する工夫。 □ 支保工、型枠工、足場工、仮桟橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。 □ 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。 □ 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。 □ 加来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。 □ 加来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。 □ 情報化施工技術(一般化推進技術、実用化検討技術及び確認段階技術に限る)を活用した工事。(使用原則化工事を除く) □ 特殊な工法や材料を用いた工事。 □ 優れた技術カ又は能力として評価する技術を用いた工事。
	□ 新技術活用	□ NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 □ NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 □ NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が従来技術と同程度である。 □ NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 □ NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。
	□ 品質関係	□ 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。 □ コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 □ 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。 □ 配筋、溶接作業等に関する工夫。
	□ 安全衛生	□ 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 □ 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) □ 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。 □ 現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。 □ 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。 □ 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。 □ 厳しい作業環境の改善に関する工夫。
	□ その他	
□ 社会性等 地域社会や 住民に対す る貢献	□ 地域への貢献等	□ 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 □ 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 □ 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 □ 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 □ 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 □ 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 □ その他(理由:

該当する項目の□に**V**マークを記入。
 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況 (説明資料)

工事名		/
項目	評価内容	
提案内容		
(説明)		
(添付図)		

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

項目別評定点

評価項目	細別	評定点/満点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	/ 3.3点
	Ⅱ. 配置技術者	/ 4.1点
2. 施工状況	I. 施工管理	/13.0点
	Ⅱ. 工程管理	/ 8.1点
	Ⅲ. 安全対策	/ 8.8点
	IV. 対外関係	/ 3.7点
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	/14.9点
	Ⅱ. 品質	/17.4点
	Ⅲ. 出来ばえ	/ 8.5点
4. 工事特性(加点のみ)	I. 施行条件等への対応	/ 7.3点
5. 創意工夫(加点のみ)	I. 創意工夫	/ 5.7点
6. 社会性等(加点のみ)	I. 地域への貢献等	/ 5.2点
7. 法令遵守等 (減点のみ)		
評定点合計		/100.0点

*評定結果に疑問があるときは、その疑問の旨を付して、この通知を受けた日から起算して7日(「休日」を含む。)以内に別に定めた書面により、説明を求めることができます。なお、疑問の旨に対する説明は、書面により郵送をします。